令和２年度観光地域動向調査事業
「自転車で海を渡るサイクルツーリズム」事業

報告書

令和３年３月

株式会社 ケー・シー・エス 九州支社

KCS

令和２年度観光地域動向調査事業
「自転車で海を渡るサイクルツーリズム」事業　報告書

－ 目 次 －

１．　業務概要…… 1
　１-１　業務の目的 …… 1
　１-２　業務概要…… 1
　１-３　業務対象地域 …… 1
　１-４　業務フロー …… 2
　１-５　実施方針…… 3
２．　既存資料・現状把握 …… 4
　２-１　全国先進事例の取集・整理 …… 4
　２-２　全国先進事例の取集・整理結果…… 5
　２-３　全国先進事例のとりまとめ ……13
３．　ルート検証のための現地調査及び検討会準備 …… 14
　３-１　サイクリスト候補者の調整・準備……14
　３-２　ルート検証のための現地調査……19
　３-３　既存資料及び現地調査結果のとりまとめ ……26
４．　サイクリスト招聘したモデルルートの確認…… 27
　４-１　モデルルート視察ツアーの設定 ……27
　４-２　モデルルート視察ツアーのしおり作成（現地確認計画作成）……28
　４-３　モデルルート視察ツアー参加者……36
　４-４　モデルルート視察ツアー結果（現地写真）……37
　４-５　モデルルート視察ツアーの意見交換まとめ……39
５．　本調査事業のまとめ…… 46
　５-１　福岡県内におけるサイクルルートの設定 ……46
　５-２　モデルルート視察ツアー結果を踏まえた設定……47
　５-３　本調査事業をとおして実施したＰＲ事業 ……47
　５-４　自転車で海を渡るサイクルツーリズム案について ……48
６．　成果目標と成果指標（とりまとめ） …… 49
　６-１　既存資料から見る目標・指標設定……49
　６-２　上位関連計画における自転車活用推進に係る目標・指標設定状況 ……49
　６-３　本調査事業の成果目標・指標設定（案） ……56
７．　検討会等の運営支援 …… 57
　７-１　検討会等の設定、開催状況……57
　７-２　検討会の議事内容 ……58

1．業務概要

1-1 業務の目的

近年のサイクルツーリズム人気の高まりという背景の中、昨今九州各地域において、サイクルツーリズムに関する取組が進められている。

本事業では唐津観光協会と連携し、佐賀県唐津市から長崎県壱岐市間の海上航路等を利用し、唐津～壱岐～福岡～唐津等を渡る、回遊性を持たせたサイクルモデルルートを作成し、課題分析調査を行ったものである。

目的①　広域的な移動を想定したサイクリングルートを構築する上での問題点・課題の把握

- 単一都市内でのサイクルツーリズムではなく、市町村を跨ぐ広域的なサイクリングルートの構築については、「自転車整備拠点」「休憩拠点」「情報提供」について、行政、観光協会等、関係機関との連携、受入環境整備、サービスの質等が求められる。
- 本業務では、唐津-壱岐-福岡間の観光資源、既存のサイクリングルート、サイクリストの受入環境実態の現地点検を行い、「（仮称）サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会（事務局：唐津観光協会）」が検討しているモデルルート案の検証を行う。

目的②　モデルルートをサイクリストと一緒にチェック・検証し、ツアーの磨き上げを行う

- 対象エリアにおけるサイクルツーリズム商品を検討する上でのモデルルート案について、サイクリストによるチェック、改善策等のアドバイスをもらう。
- サイクリストを招聘した際は、モデルルートの現地確認、意見交換を行い（５回のうち２回の協議会として設定）、業務内においてモデルルートの磨き上げを行う。

1-2 業務概要

(1) 業務名：令和２年度観光地域動向調査事業「自転車で海を渡るサイクルツーリズム」事業
(2) 業務箇所：博多、唐津、壱岐
(3) 業務期間：令和２年７月１３日（月）～令和３年３月１５日（月）
(4) 発注者：国土交通省　九州運輸局　観光部　観光地域振興課
(5) 受注者：株式会社　ケー・シー・エス　九州支社

1-3業務対象地域

業務対象地域は、唐津～壱岐～福岡を結ぶルートを対象とする。

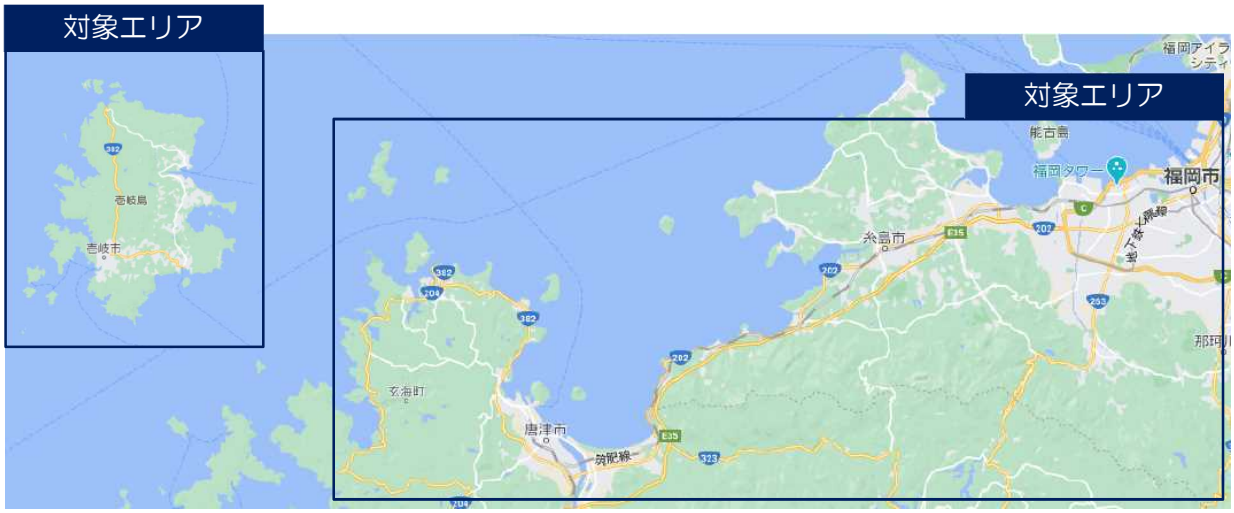


図　業務対象地域

1-4 業務フロー

業務フローは以下のとおり。

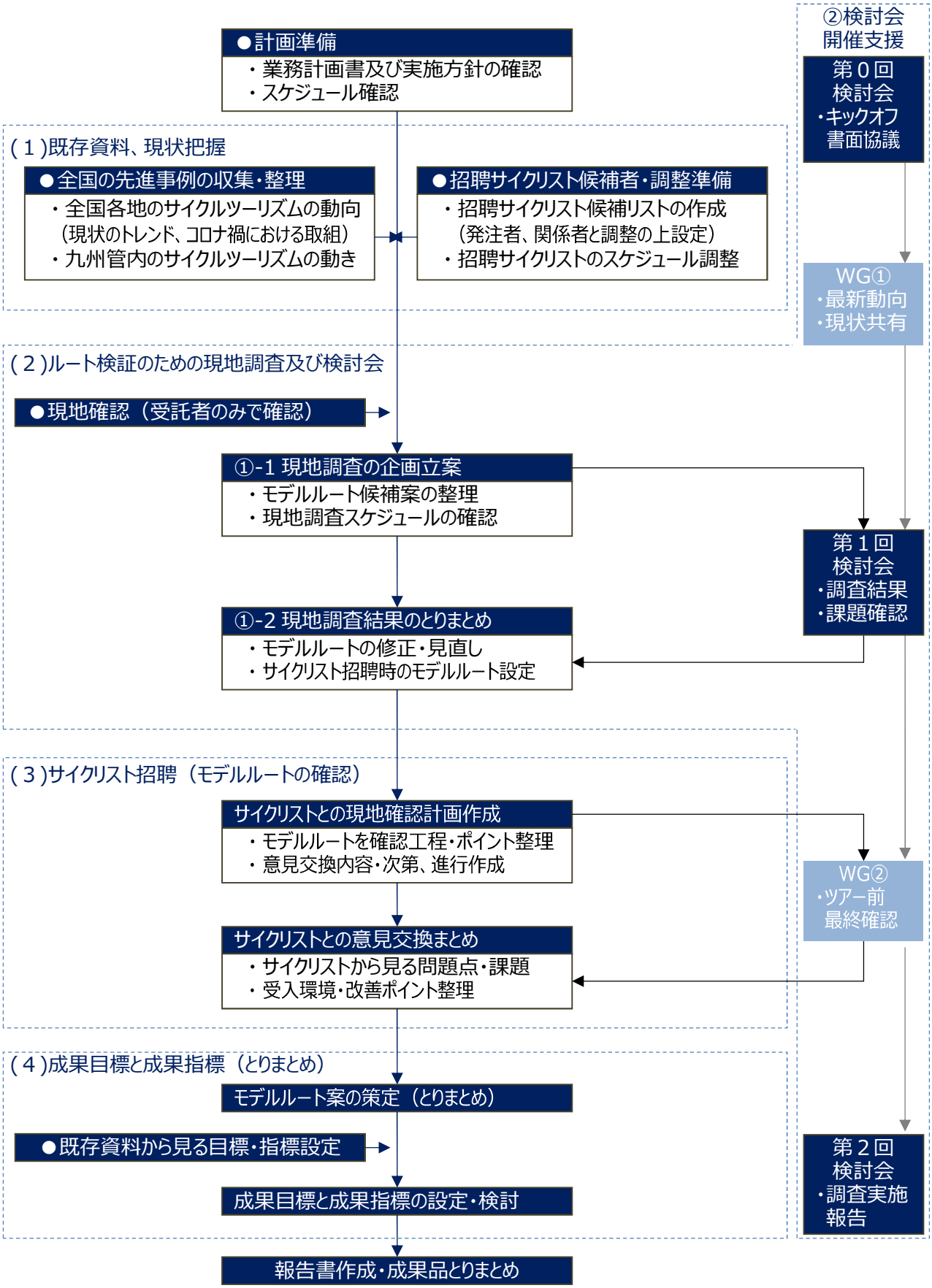


図　業務フロー

1-5 実施方針

本業務の目的、業務フローを踏まえ、以下の方針に従って執り行う。

方針① **「観光」だけでなく、広域的な海上航路、鉄道、バス等、二次交通を含めた現状を把握**

- 広域的なサイクルツーリズムを検討する上では、サイクリングルートの設定、各種受入環境整備の状況等だけでなく、鉄道、路線バス、海上航路等、公共交通機関における「サイクル＆ライド」の実態、実現性を検討する必要があると認識している。
- 対象モデルルートにおける鉄道・路線バス等のサイクリスト受入環境の実態を確認し、当該エリアの地域特性を踏まえたサイクルツーリズムの検討を行う。

方針② **サイクリスト・自転車愛好家のツーリズム・受入環境整備のニーズを把握**

- サイクルツーリズムを展開する上で、観光地の魅力向上、サービスの磨き上げを行うには、サイクリスト、自転車愛好家の意見、ニーズを把握し、反映する必要がある。
- サイクルツーリズムとしての魅力向上に加え、サイクリストのサポート、取り組みを理解した上で、対象エリアにおける受入環境を整備する必要がある。
- 当社では、全国サイクルツーリズムの最新事例を収集し、サイクリストの受入環境整備事例、既往調査結果から見るニーズ等を整理し、本業務の検討に反映する。

方針③ **本業務を通じたモデルルートの構築に加え、検討プロセス・取り組みを PR のネタとして活用**

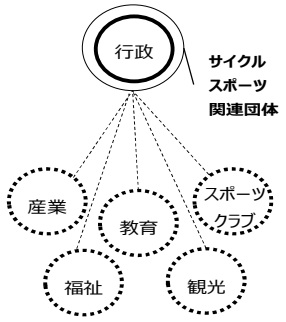
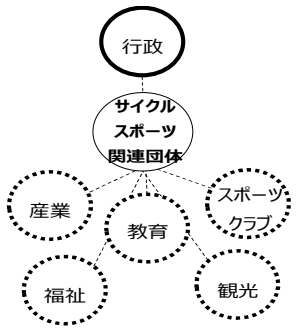
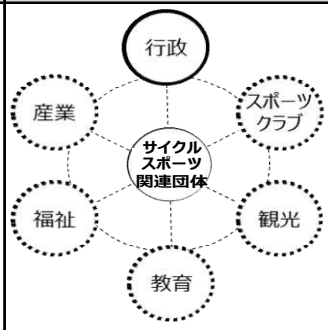
- 本業務を通じて検討したサイクルツーリズム、モデルルートについては、今後、誘客戦略を図る上でも PR、広報等を行う必要がある。
- 現時点では十分な受入環境を整備することはできないため、積極的な PR は行えないものの、本業務での取り組み、商品化するまでプロセスを知ってもらうことが重要である。
- 当社では、現地踏査、サイクリストとのチェック、意見交換会などのプロセス等、本業務の検討経緯を公表することを前提として検討会資料の作成を行う。その他、招聘したサイクリストに Facebook 等、SNS での情報発信の協力を依頼する。（発注者、関係者、サイクリストとの協議は未調整。実施可能と判断した場合、実施する）

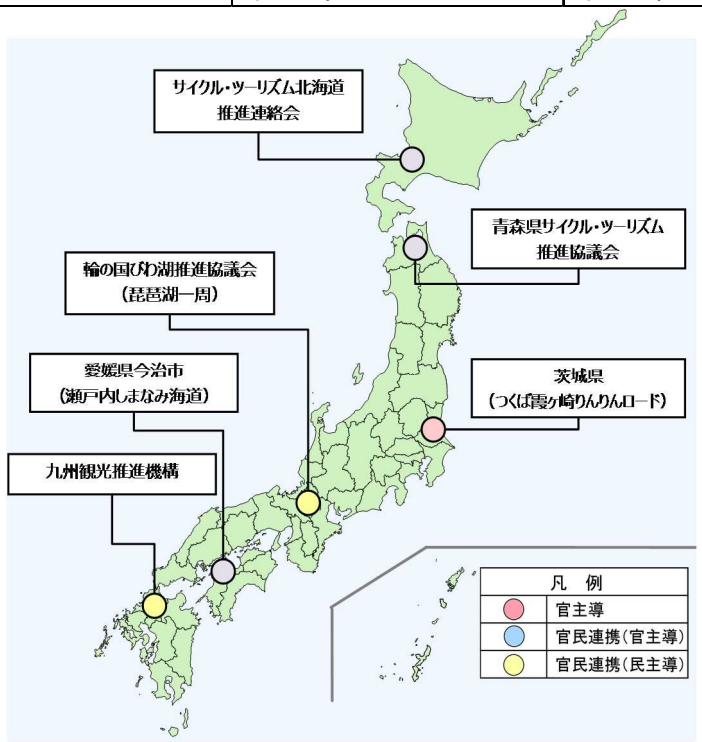
2．既存資料・現状把握

2-1 全国先進事例の取集・整理

- サイクルツーリズム推進を図るための協議会設置準備に向けて、全国各地での取り組み、運営上の問題点・課題を、公表されている既存資料・データを基本に整理する。
- 既存資料・データ収集結果を基に参考になる地域を「運営パターン」別に整理し、対象エリアにおける運営体制を検討する上での基礎資料とする。

表：サイクルツーリズムの推進体系イメージ

	官主導	官民連携（官主導）	官民連携（民主導）
イメージ			
運営方法	・行政が自らの事業として行う	・官民協働であるが、行政が旗振り役となって事業を行う ・行政から分化した組織が事業主体となっている	・官民協働であるが、実務者部会が主体となって事業を行う ・行政はサポートを行う
特徴	・直接行政の施策を推進できる ・予算が付きやすい ・フォローアップしやすい ・広域的な取り組みが可能である（市や部署を跨いだ連携等）	・行政の施策を推進する役割を果たせる ・情報提供で積極的な行政の協力を得られる（自治体の広報誌に情報を掲載する等） ・広域的な取り組みが可能である（市や部署を跨いだ連携等）	・民間のノウハウが生かされる ・現場を理解した上で、業務を行うことができる ・施設の指定管理者に据えられる等、直接施設管理に当たることができる
事例団体	・茨城県（つくば霞ヶ浦りんりんロード） 等 （ ）	・愛媛県今治市（瀬戸内しまなみ海道） ・青森県サイクル・ツーリズム推進協議会 ・サイクル・ツーリズム北海道推進連絡会 等 （ ）	・輪の国びわ湖推進協議会（琵琶湖一周） ・九州観光推進機構 等 （ ）



図：全国のサイクルツーリズム推進団体（一部）

2-2 全国先進事例の取集・整理結果

事例 1

都道府県名	茨城県（霞ケ浦）	ルート名	つくば霞ケ浦りんりんロード
実施主体	つくば霞ケ浦りんりんロード利活用推進協議会（事務局：行政） ・行政（茨城県、沿線１４市町村、国の関係機関） ・関係団体、一般企業		
取組概要	○自転車走行空間の整備 ・「つくばりんりんロード」と霞ヶ浦湖岸の道路を一体化しサイクリングコースとして設定 ○ルート案内や注意喚起等のサイン整備 ・分かりやすいルート案内や多言語による注意喚起等のサインを設置		
	○最新スポーツバイクによる広域レンタサイクルシステムの導入 ※貸出施設（10 箇所），貸出自転車（スポーツバイク等 109 台） ○地域の魅力を活かしたサイクリングイベント等の開催 ○多言語に対応した情報発信 ○ＪＲ駅直結のサイクリング拠点施設「りんりんスクエア土浦」の整備（2018.3.29 開業） ○車利用者向けのサイクリング拠点施設「りんりんポート土浦」の整備（2019.3.30 開業） ○官民一体となった推進体制を構築⇒サイクルツーリズムの取組を県内全域で推進 ○つくば駅前の観光案内所内に「自転車組立スペース」を新設		

（矢羽根とルート案内）

（多言語のサイン）

【使用言語】
- 日本語
- 英語
- タイ語
- 中国語
- 韓国語

（観光案内所内の自転車組立スペース）

（つくば霞ヶ浦りんりんサイクリング）
（初心者向けイベント）

りんりんスクエア土浦
茨城県が主体となって、土浦市と連携し整備した全国初の鉄道駅直結サイクリング拠点（2018.3.29開業）

英語，繁体字に対応したマップ、観光情報も充実

りんりんポート土浦
サイクリング拠点「りんりんポート土浦」（2019.3.30開業）

事例２

都道府県名	大分県 （国東半島）	ルート名	国東半島サイクルルート通称「仁王輪道」
実施主体	国東半島振興対策協議会（事務局：杵築市） ・行政（杵築市、豊後高田市、国東市、日出町の４市町） ※国土政策局（地方振興課半島振興室）：半島振興広域連携促進事業費補助金を活用		
取組概要	○毎年５月３日に約 2,500 名が参加する自転車のイベント「ツール・ド・国東」を開催 ○レンタサイクル事業を４市町で展開（スポーツ・シティなど幅広く対応） ○魅力だけでなく、危険個所などの情報発信（ウェブサイト・マップ） ○走行会へのメディア招致により自転車専門誌等に掲載 ○ロゴ・ネーミング策定 【今後（2019 年度）の予定】 ・先進事例に倣い「サイクルオアシス」の基準確立、ワークショップなどを通じて協力店募集 ・ルート案内サインの統一・整備 ・危険個所改善に向け、地元住民や道路管理者と調整 ・KPI 項目、その測定方法を検討		

（ツール・ド・国東）

ビギナーから健脚の方まで楽しめる、バリエーション豊かな、**9つのルート**を策定。

ロゴ・ネーミング策定

仁王輪道
KUNISAKI PENINSULA
CYCLE ROUTES

（のぼり・ステッカー制作）

メディアプロモート開始

（メディア招致・お披露目走行会）

危険個所等の情報提供開始

（ウェブサイト開設、マップ制作）

国東市サイクリングターミナルではジャイアント社製バイクの貸出もある。

危険個所として指摘の多い、車止め。地元住民と撤去合意に向けて協議を実施。

Cycle Sports5月号の掲載ページ

策定を目指す、統一サインの例。路面標示や路肩標識を検討中。

事例 3

都道府県名	兵庫県（淡路島）	ルート名	アワイチ
実施主体	淡路地域モデルルート推進協議会（事務局：行政） ・行政（兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市、国土交通省） ・観光協会、観光関係者、警察、交通事業者、サイクリスト団体　等		
取組概要	○ 安全・快適に走行できるサイクリング環境の整備 ・矢羽根型路面表示、自転車ピクトグラムの設置 ・自転車通行空間、幅員狭小区間における路肩拡幅の整備 ○ 迷わずに走行できる環境の整備 ・ルート案内標識及び路面表示の整備		
	○ 快適な休憩箇所・宿泊施設の整備 ・道の駅等にサイクルステーションを整備（概ね 20km ごと） ・交通拠点、休憩箇所、飲食施設等にサイクルラックを整備 ・サイクリストが必要とする機能を備えた宿泊施設の確保（概ね 60km ごと） ○ 多様な交通手段の確保、トラブルに対応できる環境の整備 ・公共交通機関への自転車積載 ・工具や空気入れの無料貸し出し、自転車修理や自転車回送サービスの提供 ○ 地域の魅力を満喫し、地域振興に寄与するイベントの開催 ・「淡路島ロングライド 150（淡路島を一周するサイクリングイベント）」の開催 ・セルフガイドツアー用のマップ、ガイドブックの発行、飲食店・観光施設との連携 ○ 情報発信の充実 ・ホームページ、パンフレット、SNS の活用による情報発信の充実や多言語対応の実施		

（距離標）

（案内標識）

（路面表示）

コース概要
・延長：約 150Km
・所要時間：約 10 時間
・最大標高差：約 156m

（サイクルラック設置状況）

（サイクルバス）

（サイクリスト向け宿泊施設）

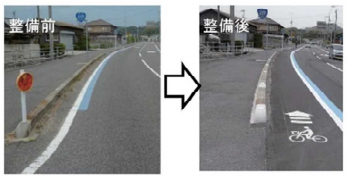
（サイクリングマップ、日英2カ国語）

事例 4

都道府県名	愛媛県・広島県	ルート名	しまなみ海道サイクリングロード
実施主体	しまなみ海道自転車道利用促進協議会（事務局：行政） ・行政（愛媛県、広島県、今治市、尾道市）		
取組概要	○自転車走行環境整備（ルートの明示・案内表示） ・平成 26 年 7 月 19 日より自転車通行料金の無料化を実現。		
	○地元との協働による休憩スポット・レスキューポイントの整備 ○自転車を直接持ち込めるサイクルバス、サイクルトレイン、サイクルシップの運行 ○全国初のサイクリスト専用ホテルがオープン（H26.3） ○民間企業の協賛によるセーフティーマット・広告看板の設置 ○国際サイクリング大会の開催（2014・2016・2018・2020 予定） ○H26 年に米国 CNN「世界７大サイクリングルート」に選定 ○HP に英語版サイクリングマップ掲載、英語版グーグルマップにおけるルート及びレンタサイクルターミナルの表示（R1.7） ○外国人観光客向け HP「VISIT HIROSHIMA」に多言語（英・仏・韓・中）でしまなみ海道のサイクリング情報を掲載 ○新たなサイクリング層の獲得に向けてレンタサイクル実証実験を通じて E-BIKE の普及・拡大を図るプロジェクト「E - BIKE アクションしまなみ」を始動（R1.7～） ○しまなみ海道の情報をメインとしたポータルサイト（英・韓・中）の構築		

- 車道の路側に推奨ルートを明示するブルーラインと路面表示を整備

- 歩道幅員を再配分し路肩を拡幅



- 主要交差点に矢羽根を設置

サイクルオアシス
（(約150箇所H30.9 現在）

企業協賛によるセーフティーマット設置等
（45社協賛）

CNN「世界7大サイクリングルート に選定

多言語に対応したHP

ONOMICHI U2
（サイクリスト専用ホテル）

しまなみサイクルトレイン（JR四国）

平成30年参加者：7,215人（うち海外26の国と地域から701人）

サイクリングしまなみ2018

事例 5

都道府県名	山口県	ルート名	角島大橋ブルーオーシャン海道
実施主体	サイクル県やまぐち推進協議会（事務局：山口県） ・行政（山口県、各市町） ・関係団体		
取組概要	○サイクルスポーツ環境の整備 ・サイクルエイド（休憩所）、サイクルステーション（レンタサイクル）の整備 ・モデル宿泊施設への夜間保管用ラック等の設置 ○主要観光スポット等への路面標示の整備		
	○やまぐち自転車旅サイクリングマップの作製 ・日本語版のほか、インバウンド対応として英語版、繁体字版、韓国語版を作製 ○インバウンド部門と連携したサイクルツアーの呼び込み ・韓国や台湾、タイ等のアジア圏からを中心とするサイクルツアーを誘客 ○ホームページやＳＮＳを活用した情報発信 ・ホームページや Facebook 上でサイクルイベント情報等を発信 ・コース紹介プロモーションビデオを作製し、ホームページや YouTube に掲載 ・今後は民間人（サイクリングエバンジェリストやアクセラレーター）を活用して情報発信力の強化を図る		

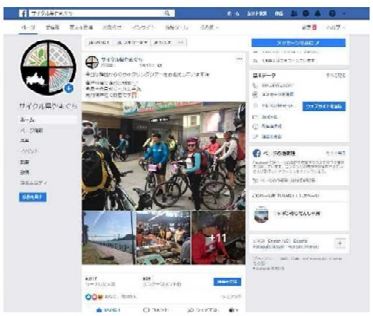
路面標示

湯本ハイランドホテルふじ（モデル宿泊施設）

コース概要
・延長：約 93Km
・所要時間：約 5-6 時間

やまぐち自転車旅サイクリングマップ

海外からの誘客（韓国からのサイクルツアー）


Facebookによる情報発信

事例 6

都道府県名	滋賀県（琵琶湖）	ルート名	ビワイチ
実施主体	輪の国びわ湖推進協議会（事務局：民間） ・NPO、市民団体・交通事業者・行政（滋賀県）		
取組概要	○路面整備 ・矢羽根型路面標示の設置、植栽帯を活用した路肩拡幅、自転車歩行者専用道路の指定により走行空間を確保 ○案内看板の設置		
	○サイクルサポートステーション、レンタサイクル拠点の整備 ○自転車搭載船の運行（湖上交通の活用） ○「ビワイチ」ツアーの造成にむけたトッププロモーション、ファムツアー ・「びわ湖一周ロングライド」の開催 ○「ビワイチ」ツアーガイド養成など、おもてなし人材の育成 ○情報発信（ＷＥＢ、アプリ、イベント出展等） ※「ビワイチ」を中心に内陸部の県内各地を周遊する「ビワイチ・プラス」を展開。自転車観光を推進することで、本県の認知度向上や交流人口の増加を図り、地域活性化につなげる		

案内看板設置例

路面表示設置例

（びわ湖一周ロングライド）

サイクルサポートステーション
（トイレ・ポンプ貸出、
休憩所等308カ所:R1.7現在）

湖上交通活用例
（守山市
漁船タクシー）

レンタサイクル
の拠点整備
（米原駅
サイクルステーション）

マップ
（日・英・中（繁）
3言語版を作成）

事例 7

都道府県名	北海道（ニセコ）	ルート名	羊蹄ニセコエリアサイクルルート
実施主体	羊蹄ニセコ自転車走行協議会（通称：YNCA）（事務局：観光協会） ・行政（羊蹄山麓７町村） ・観光協会、民間事業者、交通事業者、自転車愛好家等		
取組概要	○統一的なルート案内 ・道路付属物（国道・道道の道路標識、道路照明、固定式視線誘導等）の支柱に案内看板設置 ○矢羽根型路面表示の設置による安全対策 ・車道における自転車通行位置をニセコ除雪ステーション前に設置		
	○受入環境の充実 ・除雪ステーションの「サイクル拠点化」による継続利用・開放 ・サイクリスト受入環境の充実（サイクルスタンド、工具等） ○情報発信（HP、サイクリングマップ、地域 PR 等） ○ルートイベント（サイクルイベント、自転車啓蒙活動等） ・国際的なサイクルイベントに加え、町民等を対象に気軽に参加可能なイベントを企画・開催。 ・協議会を中心として発信している HP により、積極的な情報発信を行う ・サイクリングマップの道の駅や観光関連施設での連携配布 ・全国的な PR イベント等への参加により、国内外の幅広い誘致に向けた取組を行う		

（交差点部案内看板）

（路面表示（矢羽根））

ルートイベント
（HANAZONOヒルクライム）

地域PR活動
（サイクルモード・インターナショナル）

受入環境
（除雪ステーション「サイクル拠点化」）

情報発信
（YNCAホームページ）

事例 8

都道府県名	静岡県（浜名湖）	ルート名	ハマイチ（浜名湖一周サイクリングルート）
実施主体	浜名湖サイクルツーリズム推進会議（事務局：（公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー） ・観光・自転車協会等、鉄道・舟運・道路事業者、新聞社、大学等 ・行政（静岡県、浜松市、湖西市、国土交通省）		
取組概要	○自転車走行空間の整備 ・矢羽根型路面表示の設置、自転車ピクトグラムの設置 ○ルート案内サインの整備 ・路面表示：走行中のサイクリストを誘導 ・自立型サイン：目的地までの案内や誘導、方向を伝える		
	○バイシクルピット（92 施設）とサイクリストウェルカムの宿（26 施設）の認定 ○レンタサイクル（8 箇所、合計 185 台） ○「ガイドライド」や「大試乗会」等のイベント開催（年１回程度） ○鉄道や船へ自転車を積み込む「鉄道や舟運との連携」 ○情報発信（ホームページ、SNS、サイクリングマップ等） ○今後、施設認定やイベント開催等の取組みを通じ推進を図る		

（矢羽根設置箇所の走行状況）

（路面表示）

（自立型サイン）

バイシクルピットの例と認定施設用プレート

鉄道や舟運との連携

毎年開催の
「浜名湖サイクル
ツーリング」

インバウンド対応サイクリングマップ（日本の交通ルールも掲載（英語））

2-3 全国先進事例のとりまとめ

- サイクルツーリズムを官民連携で施策、事業を展開している取り組み内容を整理した。
- サイクルツーリズムを展開する際、「案内（ルート案内標識・路面標示）」「サイン表示」だけでなく、「サイクルステーション」「サイクルラック」の整備を進めている。
- 「しまなみ海道サイクリングロード」等、全国でも先進的な地域は、サイクリストの宿泊、自転車積載サービスを展開しており、モビリティサービスの活用を含めた包括的な施策を展開している。
- 行政、民間が運営主体に関係なく「マップ発行」「情報発信・多言語化」「イベントの開催」等はサイクルツーリズムの周知、PR を行っている。

表　先進事例のとりまとめ一覧

	ルート名	都道府県名	実施主体		メンバー構成	取組内容																				
						ルート案内標識	路面標示・矢羽根設置	サイン整備（多言語化）	路肩拡幅	自転車通行料金の無料化	レンタサイクルの整備	E-BIKE のレンタサイクル	サイクルステーションの整備	サイクルラックの整備	情報発信の充実・多言語化	マップ発行（多言語）	サイクリスト向け宿泊施設	自転車積載サービス（鉄道）	自転車積載サービス（バス）	自転車積載サービス（船）	イベント等の開催	PR イベント等への参加	ファムツアー（インバウンド招待）	メディア周知・自転車専門誌等掲載	ロゴ・ネーミング策定	ツアーガイド養成	協賛企業のセーフティマットの設置
1	つくば霞ケ浦りんりんロード	茨城県	官主導	つくば霞ケ浦りんりんロード利活用推進協議会 （事務局：行政）	・行政（茨城県、沿線１４市町村、国の関係機関） ・関係団体、一般企業	●	●	●			●				●	●					●						
2	国東半島サイクルルート 通称「仁王輪道」	大分県		国東半島振興対策協議会 （事務局：杵築市）	・行政（杵築市、豊後高田市、国東市、日出町）	●		●			●		●		●	●					●			●	●		
3	アワイチ	兵庫県	官民連携（官主導）	淡路地域モデルルート推進協議会 （事務局：行政）	・行政（兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市、国土交通省） ・観光協会、観光関係者、警察、交通事業者 ・サイクリスト団体　等	●	●	●					●	●	●	●	●		●	●	●						
4	しまなみ海道サイクリングロード	愛媛県・広島県		しまなみ海道自転車道利用促進協議会 （事務局：行政）	・行政（愛媛県、広島県、今治市、尾道市）		●		●	●		●	●			●	●	●	●	●	●						●
5	角島大橋ブルーオーシャン海道	山口県		サイクル県やまぐち推進協議会 （事務局：山口県）	・行政（山口県、各市町） ・関係団体		●				●		●		●	●	●						●				
6	ビワイチ	滋賀県	官民連携（民主導）	輪の国びわ湖推進協議会 （事務局：民間）	・NPO、市民団体 ・交通事業者 ・行政（滋賀県）	●	●		●		●		●		●	●				●	●	●	●			●	
7	羊蹄ニセコエリアサイクルルート	北海道		羊蹄ニセコ自転車走行協議会（通称：YNCA） （事務局：観光協会）	・行政（羊蹄山麓７町村） ・観光協会、民間事業者、交通事業者 ・自転車愛好家等	●	●						●		●	●					●	●					
8	ハマイチ （浜名湖一周サイクリングルート）	静岡県		浜名湖サイクルツーリズム推進会議 （事務局：（公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー）	・観光・自転車協会等、鉄道・舟運・道路事業者、新聞社、大学等 ・行政（静岡県、浜松市、湖西市、国土交通省）	●	●				●		●		●	●	●	●		●	●						

3．ルート検証のための現地調査及び検討会準備

3-1 サイクリスト候補者の調整・準備

- 本業務では、モデルルートの検証を行うため、サイクリスト候補者の検討を行った。
- サイクリストについては、専門的な知見、情報発信力があり、継続的に連携できる等の条件を事務局と協議、検討を行った。サイクリスト候補者の調整・準備にあたっては、下記条件①～③を踏まえた選定を行った。

①福岡県、佐賀県、長崎県など、九州エリア内で発信力があるサイクリスト
②初心者から上級者の視点を踏まえたルート検証（プロライダーの招聘）
③本調査事業の視察ツアーが周知・ＰＲ戦略として実施（インフルエンサー招聘）

- 上記①から③を踏まえ、下記候補者を選定し、発注者、関係機関との協議の上、プロライダーの黒枝士揮さん、黒枝咲哉さん（上記①②に該当）、YouTuber：けんたさん（上記③に該当）、ガイドに山田大五朗さんを招聘することとした。

プロロードレーサー：黒枝士揮氏

大分県出身、現在チームブリヂストンサイクリングに所属。
スプリンターとしてチームに貢献。
個人戦績
2008 年　国体　個人ロードレース　優勝
2010 年　JOC ジュニア・オリンピック・カップ　ポイントレース　優勝
2011 年　全日本学生クリテリウム選手権　優勝
2012 年　国体　ケイリン　優勝
2014 年　GP MARCEL BERGUREAU(フランス/国際大会)　優勝

プロロードレーサー：黒枝咲哉氏

大分県出身、現在シマノレーシングに所属。
スプリンターとしてチームに貢献。
個人戦績
2013 年 全日本ロードジュニア　優勝
2016 年 全日本学生選手権トラック男子マディソン　優勝
2016 年 国体　ケイリン　優勝
2018 年　Ｊプローツアー維新やまぐちクリテリウム　優勝
2018 年　おおいたクリテリウム(UCI 認定) 優勝
2019 年　さいたまクリテリウム　スプリント　優勝

YouTuber：けんたさん

現在登録者数 19.1 万人の自転車系ではトップの人気 YouTuber である。ライドの様子や、自転車関連のアイテム紹介、自転車に関する How to などを発信。

サイクルガイド：山田大五朗氏

世界で活躍した元サイクリスト。現役時代は、29 歳の時にフランスのマウンテンバイクのクロスカントリーマラソンで日本人初の完走&43 位という結果を残す。
現在は福岡を拠点に bike is life を設立し、自転車ショップ&自転車ガイドなどを行っている。
＊福岡県サイクルツーリズムアドバイザー
＊ツールド九州・山口アドバイザー

・ その他、今後のサイクリスト招聘を行う上で発信力のある著名サイクリスト一覧を作成した。（次頁参照）

表　サイクリスト候補者一覧（1/3）

候補者名	職 業 ・ 所 属 等	理　　由	PR 力(SNS フォロワー数)
鶴見 辰吾	生年月日：1964 年 12 月 29 日 出身地：東京都 職業：俳優 所属事務所：ホリプロ	ロードバイク好き芸能人のパイオニア 月に 2000Km 以上走ることもあるというほどの自転車好き。ロードバイクで走ることが本業で俳優が副業と思われても不思議ではない。50 歳をオーバーした現在でも 3 時間台でフルマラソンを完走するなど、生粋のアスリートである。	Twitter：9,260 人 Instagram：1,983 人 Facebook：8,588 人
近藤 真彦	生年月日：1964 年 7 月 19 日 出身地：神奈川県大和市 職業：歌手、レーシングドライバー 所属事務所：ジャニーズ事務所	自動車レーシングチームオーナー トライアスロンの大会に積極的に参加されていて、インターマックス社のバイクなどを主に使用している。	Twitter：5,171 人 Instagram：3,406 人 Facebook：1.18 万人（KONDO Racing Team）
片山 右京	生年月日：1963 年 5 月 29 日 出身地：神奈川県相模原市 職業：レーシングドライバー	元 F-1 ドライバー。自身のプロチーム「チーム UKYO」を持つほどのロードバイク好き。自身も国内アマチュア最高峰レースで完走率は 40%ほどという「ツールド沖縄 210km」を完走するくらいの実力者である。	Twitter：1.07 万人 Instagram：2,695 人 Facebook：1.16 万人（チーム UKYO）
小島 よしお	生年月日：1980 年 11 月 16 日 出身地：沖縄県島尻郡久米島町 職業：お笑い芸人 所属事務所：サンミュージックプロダクション	自転車イベントでも精力的に活動している。40 万円のロードバイク「SCOTT」を愛用していた小島さんは東京の四谷にある交差点で停車していた際に盗難に遭ってしまい、ツイッターで目撃者を募ったことがきっかけで世間に自転車好きが認知された。	Twitte：18.96 万人 Instagram：5.35 万人 YouTube チャンネル登録者数：8.45 万人
中田 敦彦（オリエンタルラジオ）	生年月日：1982 年 9 月 27 日 出身地：大阪府高槻市 職業：お笑い芸人 所属事務所：よしもとクリエイティブ・エージェンシー	愛用している自転車は「GIANT TCR ADVANCED SL3」というロードバイクで、40 万円もの高級自転車として知られている。自転車の愛好家ということもあり自転車を特集している雑誌の表紙を飾ったこともある。	Twitter：54.6 万人 Instagram：18 万人 YouTube チャンネル登録者数：260 万人
団長 安田（安田大サーカス）	生年月日：1974 年 4 月 26 日 出身地：兵庫県西宮市 職業：お笑い芸人 所属事務所：松竹芸能	高級自転車を複数所有するほど大の自転車好き。自身のコレクションも公開しており、「水曜日のダウンタウン」では自転車芸人として出演。実業団チームである宇都宮ブリッツェンの下部組織であるブラウ・ブリッツェンの入団試験をパスしたほどの実力の持ち主。2015 年には温海トライアスロン大会中の自転車レースで転倒し、前頭部を強打する事故に遭ったが驚異的な回復力で復帰している。ヒルクライム入門者向けの本も出している。	Twitte：7,944 人 Instagram：2 万人 YouTube チャンネル登録者数：2.53 万人

表　サイクリスト候補者一覧（2/3）

候補者名	職 業 ・ 所 属 等	理　　由	PR 力（SNS フォロワー数）
リサ・ステッグマイヤー	生年月日：1971 年９月 25 日 出身地：アメリカ合衆国インディアナ州 職業：トライアスリート、ファッションモデル 所属事務所：オスカープロモーション	ロードバイクをおしゃれに楽しむことができる女性アスリート。自転車に合わせたコーデを紹介したり、ヘルメットを上手につける方法など、女性目線で自転車を楽しむ方法を伝授してきた。	Instagram：3,155 人
道端 カレン	生年月日：1979 年６月 26 日 出身地：福井県 職業：ファッションモデル 所属事務所：テンカラット	トライアスリートとしても有名なファッションモデル。 インスタグラムでもロードバイクのみならずランやスイムとレーニングの様子も頻繁にアップしている。また、ママチャリを使ったダイエット方法をまとめた書籍を発売するなど、自身の活動にも自転車を活かしている。	Twitter：2.9 万人 Instagram：2.7 万人
要　　潤	生年月日：1981 年２月 21 日 出身地：香川県 職業：俳優 所属事務所：フリップアップ	自転車が大好きな芸能人としておなじみの存在である。プライベートでも愛用しているという自転車は、100 万円もの高級自転車。	Twitter：17.8 万人 Instagram：3.2 万人 Facebook：2,255 人 YouTube チャンネル登録者数：2.8 万人
高橋　一生	生年月日：1980 年 12 月９日 出身地：東京都 職業：俳優 所属事務所：舞プロモーション	幅広い年齢層の女性に大人気の俳優で、本物の自転車好きとして有名。高級自転車ブランドのマリンが販売している９万円の自転車を愛用している。また、その自転車には「てつお」という名前も付けていると公表。	
猪野　学	生年月日：1972 年 10 月７日 出身地：三重県 職業：俳優 所属事務所：オフィスコバック	トビー・マグワイアさんが演じたハリウッド映画「スパイダーマン」の吹き替え声優としておなじみの俳優。ロードバイクを愛用しており、ヒルクライマーの甲子園と言われている「マウンテンサイクリング in 乗鞍」に参加したことが話題になった。	Twitte：8,369 人
ま こ と（シャ乱Q）	生年月日：1968 年 12 月 31 日 出身地：大阪府羽曳野市 職業：ミュージシャン 所属事務所：アップフロントクリエイト	妻の富永美樹さんと共に自転車好きの夫婦として有名。自転車関係の仕事も夫婦で取り組むことがある。	YouTube チャンネル登録者数：1.36 万人
長野　博（V6）	生年月日：1972 年 10 月９日 出身地：神奈川県大和市 職業：アイドル 所属事務所：ジャニーズ事務所	爽やか系のアイドルとして安定した人気を維持している。休日は自転車で汗を流すこともあり、若い頃は自転車を使ったパフォーマンスも披露したことがある。	
渡辺 直美	生年月日：1987 年 10 月 23 日 出身地：台湾新北市 職業：お笑い芸人 所属事務所：よしもとクリエイティブ・エージェンシー	女性人気が高いぽっちゃり系タレント。テレビドラマ「カンナさーん！」では自転車に乗るシーンが放送されて話題になった。	Twitter：194.6 万人 Instagram：941.7 万人 YouTube チャンネル登録者数：76.2 万人

表　サイクリスト候補者一覧（3/3）

候補者名	職 業 ・ 所 属 等	理　　由	PR 力(SNS フォロワー数)
北川 えり	生年月日：1975 年６月 11 日 出身地：静岡県 職業：女優 所属事務所：ホリエージェンシー	女優業だけではなく、自動車教習所の教官でもあったり中国語が得意など、多彩な才能の持ち主。女性だけの自転車サークルを結成するほど自転車を愛しており、同じ自転車が趣味の弁護士男性と結婚した際は、「自転車婚」だと報じられた。	
眞鍋 かをり	生年月日：1980 年５月 31 日 出身地：愛媛県西条市 職業：タレント 所属事務所：ノースプロダクション	自転車だけでなくバイクにもこだわりがあり、結婚前はツーリングなどを楽しんでいた。自転車のローカル番組「眞鍋＆団長の自転車塾」に団長安田さんと出演していたこともあり、放送地域では自転車のイメージがある芸能人としても支持されていた。	Twitte：59.9 万人
玉袋 筋太郎	生年月日：1967 年６月 22 日 出身地：東京都新宿区 職業：お笑い芸人 所属事務所：オフィス北野	休日はサイクリングで過ごしており、自身のお気に入りコースを紹介したこともあった。また、競輪の熱心なファンでもあり、何度も予想を的中させてきたほど選手たちを見抜く才能もあるらしい。	Twitter：3.5 万人 Instagram：1.2 万人
福田 充徳（チュートリアル）	生年月日：1975 年８月 11 日 出身地：京都府京都市左京区 職業：お笑い芸人 所属事務所：よしもとクリエイティブ・エージェンシー	多趣味なことで有名。ブレーキがない高級自転車を所有しており、その自転車で外出してしまったため、道路交通法違反容疑で摘発されてしまったことがある。	
水道橋博士	生年月日：1962 年８月 18 日 出身地：岡山県倉敷市 職業：お笑い芸人 所属事務所：オフィス北野	プライベートは特に変装することなく、自転車でショッピングを楽しんでいるという。芸風からは冷たい印象があるが、自転車に対する愛は深く、綺麗にメンテナンスしている様子を公開している。	Twitter：49.7 万人 Instagram：1,145 人 YouTube チャンネル登録者数：1.28 万人
イモト　アヤコ	生年月日：1986 年１月 12 日 出身地：鳥取県西伯郡伯耆町 職業：お笑い芸人 所属事務所：ワタナベエンターテインメント	過去に生放送の企画でオーダーメイドの自転車を作ってもらっていた。	Twitter：123.4 万人 Instagram：241.8 万人
朝比奈　彩	生年月日：1993 年 10 月６日 出身地：兵庫県洲本市 職業：ファッションモデル、女優 所属事務所：生島企画室	ファッションモデルの中では一番の自転車好きとして知られている。NHK のテレビ番組「チャリダー 快汗！サイクルクリニック」での仕事がきっかけとなり、プライベートでも愛用するほど自転車の虜になってしまったそうだ。	Twitte：7.9 万人 Instagram：43.9 万人

3-2 ルート検証のための現地調査

3-2-1 現地調査の企画立案

- 唐津市周辺エリアにおいては、多くのサイクリングコースが存在するとともに、沿線には温泉、グルメなどのサイクルツーリズムを検討する上での主要な施設が多く分布している。
- 「サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会（事務局：唐津観光協会）」が検討しているサイクリングルートを対象に、サイクリングロードの安全性、サイクリング関連施設の充実度、アクセス性、宿泊受入体制等の実態を把握する。
- また、現地調査結果を踏まえて、招聘するサイクリストに確認してもらうポイントを整理し、「サイクリストとの現地確認計画」を作成する。

図：現地調査からサイクリストとの現地確認ポイントを整理

3-2-2 既存資料、現地調査結果

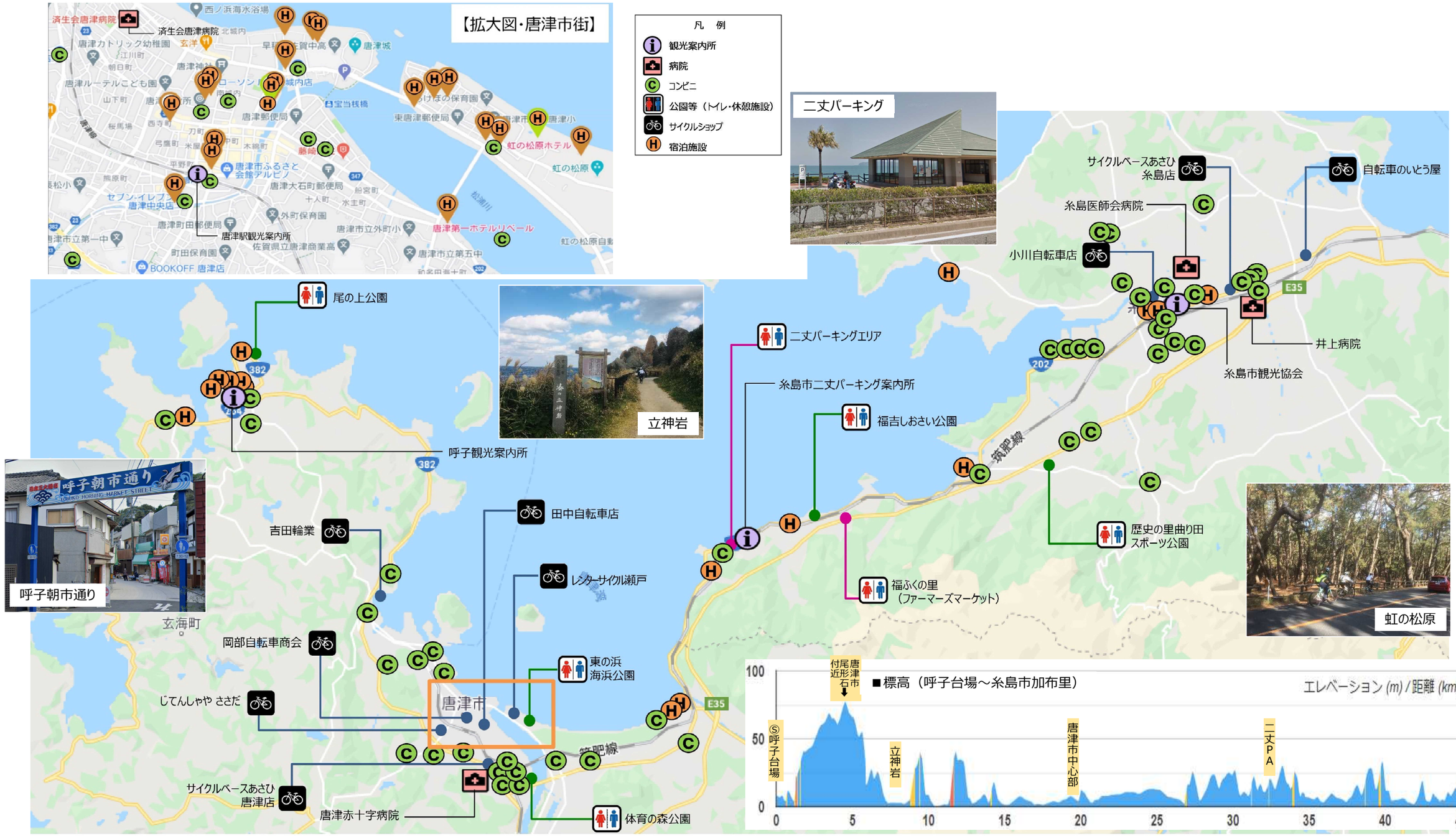
- 「サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会（事務局：唐津観光協会）」が検討しているサイクルツーリズムルート案は以下のとおり。

図：「サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会」事務局が想定したルート案

- 協議会が検討したサイクルツーリズムルート案について、道路環境、沿道施設の立地状況を既存資料及び現地調査を実施し、現状を整理した。
- なお、現地調査、確認については、福岡県は既に沿岸部のサイクルルートを設定しており、同ルートを活用することで、現地調査及びサイクリストを招聘したモデルルート案の対象外とした。

唐津周辺

- 宿泊施設：宿泊可能な施設が唐津市内中心部に立地。唐津第一ホテルリベールへ確認を行ったところ「自転車置き場」の設置、「自転車預かり」を柔軟に対応。
- 休憩施設：玄界灘沿岸部は、公園（公衆トイレ）、コンビニエンスストアが立地し、「トイレ休憩」「水分補給」可能な施設が点在。呼子、唐津市内、二丈 PA には観光案内所も併設。
- 自転車関連施設：唐津市内 6 店舗、糸島市内に 3 店舗。レンタサイクル、自転車整備等のサービスあり。唐津、糸島の中心市街地以外は自転車関連施設の立地はない。
- 病院施設：総合病院が「唐津市」「糸島市」に立地。第三次救急医療施設が立地し、救急医療環境は整っている、対象ルートから最大約 13km 圏内に病院が立地している。
- 道路環境：自転車通行帯、カラー舗装等の走行環境はまだ十分整備されていない。特に、虹ノ松原内の県道 347 号は、路肩幅も狭い。路面標示にランブルストリップスが整備されており、凹凸がある。
- その他　：呼子付近(標高約 74m)、糸島二丈付近(標高約 44m)、急勾配区間が存在。玄界灘沿岸部は景色も良く、サイクリングルートとして適しているが自転車走行空間が限定されるため安全には注意が必要。



図：唐津エリアのサイクリング拠点、休憩施設箇所

壱岐周辺

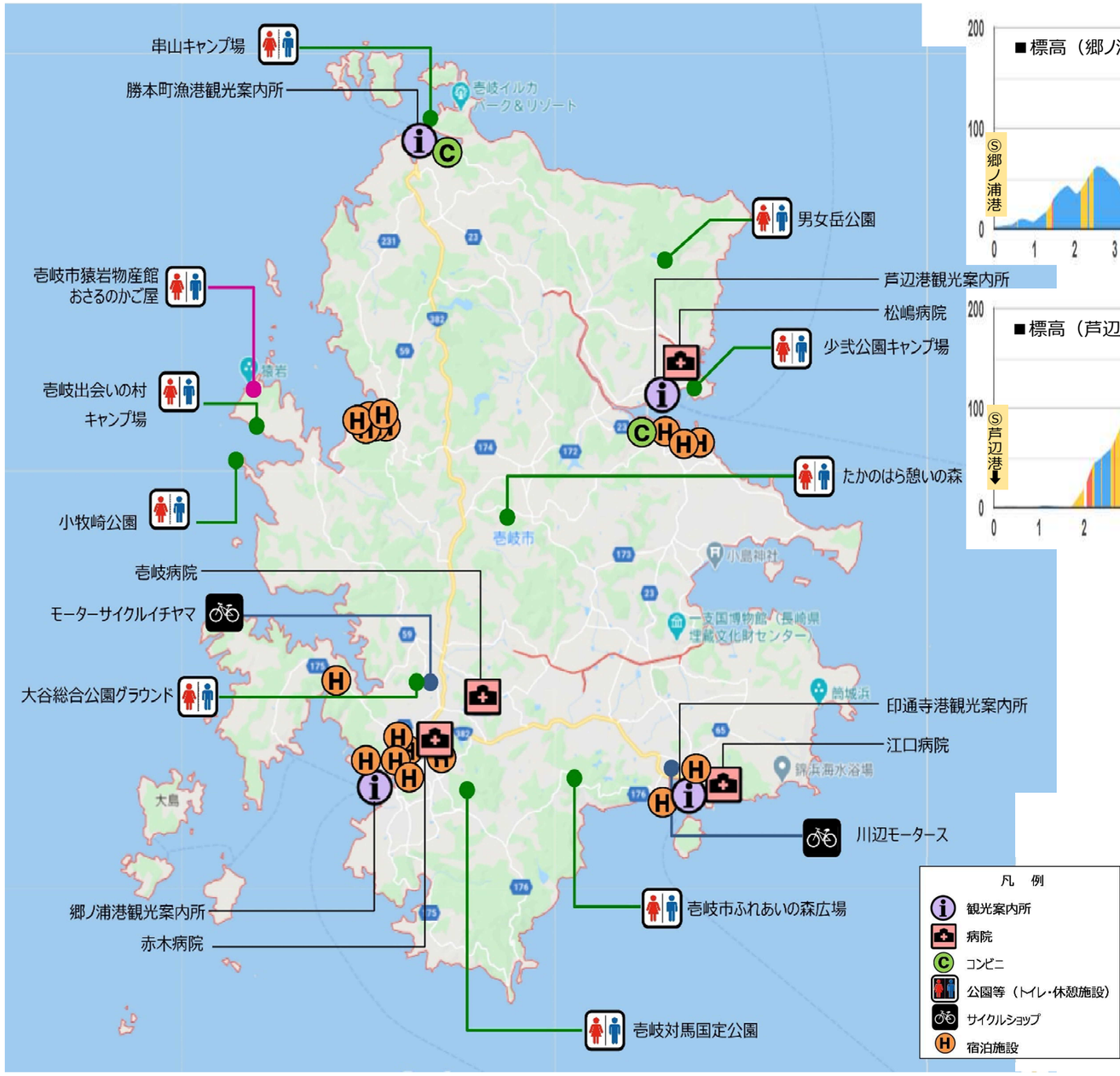
- 宿泊施設：宿泊施設は各港に立地。「自転車置き場」「自転車預かり」等は明確に設定していない。サイクリストの受入案内、環境は未整備。
- 休憩施設：各港、郷ノ浦、芦辺港、印通寺港に観光案内所が立地。コンビニエンスストアの立地は芦辺港付近に立地している以外はない。沿岸部の観光施設に公衆トイレ等が立地、内陸には「たかのはら憩いの森」や「公園」などが点在。休憩施設間の距離は離れて立地しており、トイレ休憩等がしにくい恐れがある。
- 自転車関連施設：壱岐市内には２店舗、郷ノ浦港、印通寺港付近の２カ所しかないため、市北部には自転車トラブル発生時に整備、メンテナンスすることが難しいことが想定される。
- 病院施設：壱岐市内には４病院。各港付近立に立地。市南部に集中しており、市北部には総合病院が少ない。市北部へのサイクル時は事故・けがへの対応に遅れが生じる可能性がある。
- 道路環境：自転車通行帯、カラー舗装等の走行環境は整備されていない。自動車交通量は限定されるため、一般道路での走行は比較的安全に走行できる。サイクルルートを設定時は路面標示、案内等は必要
- その他　：猿岩付近（標高約 41m）、鬼の足跡付近（標高約 87m）、唐津同様、急勾配区間が存在。市南部は沿岸部に道路が整備されており景色は良いが、市北部、中部は沿岸部の道路整備がされておらず、くしの歯のように道路が整備されている上、急勾配が多く、サイクルルートとしては上級・中級者向けの環境。

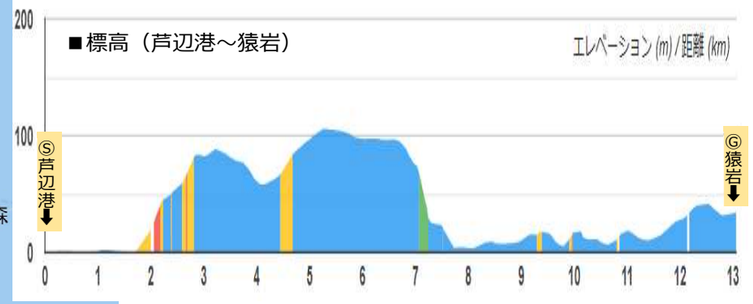
壱岐イルカパーク＆リゾート

猿岩

鬼の足跡

郷ノ浦港





左京鼻

はらほげ地蔵

図：壱岐エリアのサイクリング拠点、休憩施設箇所

3-2-3 鉄道・路線バス等のサイクリスト受入環境整備

- ＪＲ、路線バス、船舶の輪行、車内への自転車持ち込み可否、条件等の受入環境の状況について、公表されている情報を基に整理を行った。

1） JR 九州

- ＪＲ九州では、車内に持ち込み可否は、下記のとおり記載されている。
- ＪＲ九州においては、自転車の持ち込みは、自転車を解体し、専用の袋に収納したものについては、可能であると記載されている。

表：JR 九州の車内持ち込み可能な荷物の概要

区分	内容
持ち込めない荷物	危険品、刃物(※1）、暖炉・コンロ、動物（※2）、死体、不潔なもの、臭気を発するもの、他のお客さまに危害を及ぼすおそれのあるもの、車内などを破損するおそれのあるものなどは車内への持ち込みはできません。
持ち込める荷物	携帯できる荷物で、タテ・ヨコ・高さの合計が 250 センチ（長さは２メートルまで）以内、重さが 30 キロ以内のものを２個まで持ち込むことができます。（ただし、傘、つえ、ハンドバックなど身の回り品は個数に数えません。）

出典：ＪＲ九州ホームページ（https://www.jrkyushu.co.jp/railway/ticket/rule/07/）

- 上記の記載、自転車については、「持ち込める荷物」に該当する。
- 但し、持ち込む場合の条件として、下記のとおり記載されている。

表：JR 九州の車内への持ち込み方

区分	内容
無料のもの	旅行鞄、スーツケース、スポーツ用品（サーフボードは専用の袋に収納したもの）、楽器、娯楽用品、玩具、その他携帯できる荷物
サイクリング関連記載	サイクリングやスポーツ大会などに使用する自転車は、解体し専用の袋に収納したものまたは、折りたたみ式自転車においては折りたたんで専用の袋に収納したもの

出典：ＪＲ九州ホームページ（https://www.jrkyushu.co.jp/railway/ticket/rule/07/）

2） 福岡市地下鉄

・ 福岡市地下鉄の自転車の持ち込みは、「朝夕等、一般利用が多い時間帯を除き可能」と記載されている。

図：福岡市地下鉄における自転車の持ち込みに関する記載内容

出典：福岡市地下鉄ホームページ（https://subway.city.fukuoka.lg.jp/utility/qa_detail.php?cat_id=4）

3） 西日本鉄道(株)

・ 西日本鉄道(株)の自転車の持ち込みについては、「高速バスの車内・床下トランクへのお荷物持ち込みについて」に記載されている。

車内・床下トランクへのお荷物持ち込みについて

持ち込みを禁止するもの（車内・床下トランク共に）

- 総重量30キログラム、3辺の長さが2メートルを超える手回品
  ※お一人様の手回品総数のサイズになります。
- 危険物（火薬類、アルコール、放射性物品など）

床下トランク内への持ち込みを禁止するもの

- 現金・貴金属・宝石類・有価証券・美術骨董費などの高価品
- 時計・カメラ・パソコン・ガラス製品などの壊れやすい品物
- 他の物品を破損、汚損するおそれのあるもの
  ※上記の品物については、車内への持ち込みをお願いします。

折りたたみ自転車の取り扱いについて

折りたたみ自転車は、禁止サイズ以内及び、専用の袋に収納している場合に限りの持ち込みが可能です。
※但し、持ち込みの際に破損、汚損の責任は負いかねますので、予めご了承願います。

図：西日本鉄道(株)における自転車の持ち込みに関する記載内容

出典：西日本鉄道(株)ホームページ（http://www.nishitetsu.jp/bus/highwaybus/guide/pet/#2）

4） 九州郵船

- 九州郵船(株)の自転車の持ち込みについては、「特殊手荷物」という取扱いとなっている。
- なお、「特殊手荷物」の事前予約は行っていない。

特殊手荷物 （片道料金・消費税込み）

種類	区間	博多～壱岐	博多～厳原	壱岐～厳原	唐津～印通寺	博多～比田勝
自転車等の軽車両		1,050円	1,560円	1,050円	840円	1,570円
原動機付き自転車（125cc未満）		2,100円	3,140円	2,100円	1,680円	3,140円
ミニカー登録車両		3,660円	6,620円	3,660円	2,900円	7,020円
二輪自動車（750cc未満）		3,150円	4,720円	3,150円	2,510円	4,710円
二輪自動車（750cc以上）		4,180円	6,280円	4,180円	3,350円	6,290円

（注）
1. 側車付（原動機付自転車を除く）のものは自動車航送運賃を申し受けます。
2. 特殊手荷物の予約は行っておりません。出航50分前迄の受付けとなります。（積込台数の制限あり）

▲ページのトップに戻る

図：九州優先(株)における自転車の持ち込みに関する記載内容

出典：九州郵船(株)ホームページ（https://www.kyu-you.co.jp/）

5） 鉄道・バス等のサイクリストの受入環境について

- ここでは、公共交通事業者各社の自転車の持ち込み可否、条件等を整理した。

① 鉄道・バスは、自転車の持ち込みは可能。
縦横延長サイズの指定、履行可能時間指定、専用の収納等の条件が設定。
② 船舶は、自転車の持ち込みは「特殊手荷物」となり、客席への持ち込みはできない。
事前の予約ができない状況にある。

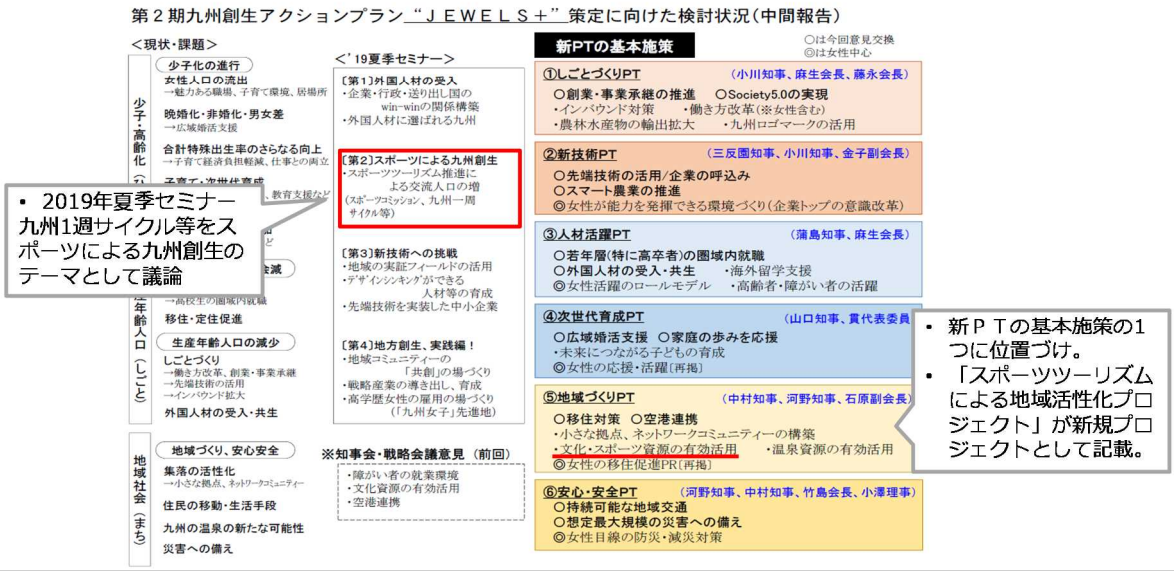
- 上記のとおり、公共交通事業者それぞれ持ち込みは可能であるが、条件が異なる。
- サイクルツーリズムを展開していく上で、公共交通機関への持ち込みに関する周知、予約等の環境も整えていくことが必要である。

3-2-4 ツール・ド・九州・山口（仮称）に向けた取り組み・動向

- 九州地方知事会議では、「九州創生アクションプラン」の策定が進められており、新たなプロジェクトチーム（以下、「ＰＴ」とする。）の設置、各ＰＴの基本施策が示されている。
- 「地域づくりＰＴ」では「文化・スポーツ資源の有効活用」が位置づけられており、「スポーツツーリズムによる地域活性化プロジェクト」が新規プロジェクトとして記載された。
- 上記の動きに合わせて、「ツール・ド・九州・山口（仮称）」について協議を進めており、「九州ならではのサイクルツーリズムの早期完成」が記載されている。
- 大会ルートイメージも掲載されており、本業務の検討対象エリアである福岡－糸島－唐津も含まれている。

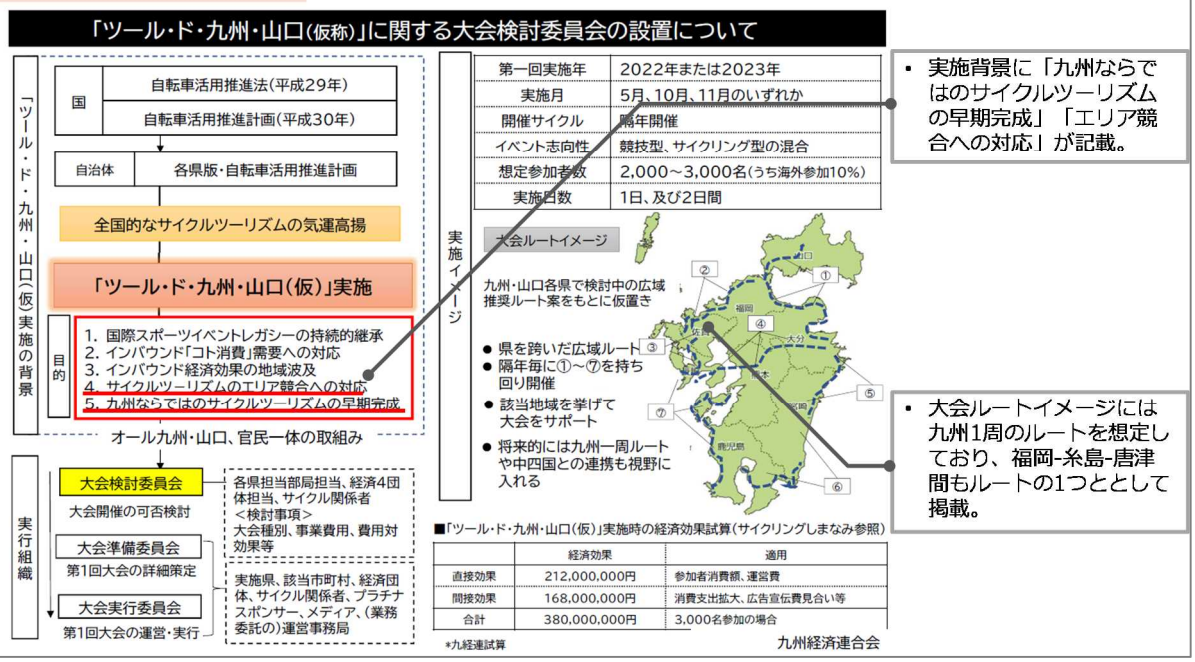
第154回九州地方知事会議、第36回九州地域戦略会議（令和元年11月5-6日）

- 九州創生アクションプランの進捗状況と、第2期プランの中間報告がされた。
- 「地域づくりPT」の基本施策の1つに「文化・スポーツ資源の有効活用」が位置づけられている。



第155回九州地方知事会議、第37回九州地域戦略会議（令和2年5月22日）

- 「ツール・ド・九州・山口（仮称）」について協議。
- 具体的な大会検討委員会の設置の背景、目的、実施イメージが示された。



図：「ツール・ド・九州・山口（仮称）」の取り組み・動向

3-3 既存資料及び現地調査結果のとりまとめ

・ 「サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会（事務局：唐津観光協会）」が検討しているサイクルツーリズムルート案について、既存資料及び現地調査を行った。また、ツール・ド・九州・山口（仮称）の検討状況を踏まえて、サイクリストを招聘したモデルルート（視察ツアー）の設定を行った。検討結果は以下のとおり。

エリア	視察ルートの検討協議ポイント
唐津市内	【玄界灘を一望し、唐津市内の観光名所を周遊するルートを設定】 ・「呼子」から「唐津」の玄界灘を一望できるルートを設定 ・呼子－唐津間にある玄界灘を一望できる「たてがみ岩」を経由。 ・唐津中心部は、自転車走行空間、唐津城から虹ノ松原を見て二丈 PA を視察 ・唐津名物「唐津バーガー」等、地元グルメを食しても楽しむ。
唐津-壱岐	【唐津から壱岐（印通寺港）】 ・唐津港から印通寺港までフェリー利用して輪行。 ・フェリーの利用、自転車積載上の問題点・課題を確認。
壱岐市内	【印通寺港から玄界灘を見ながら観光名所を周遊するルート】 ・「印通寺」か「ら芦辺」「猿岩」を経由して「郷ノ浦」まで周遊するルート ・壱岐の観光名所「原の辻遺跡」「はらほげ地蔵」「月讀神社」を周遊。 ・壱岐でおしゃれなカフェ「チリトリ食堂」のカフェご飯を楽しむ。
壱岐-博多	【唐津から博多港へ】 ・唐津―壱岐―博多までを自転車で海を渡るサイクルツーリズム。 ・壱岐から唐津に戻るのではなく、博多までの周遊を 1 つの視察として設定。 ・壱岐-博多間のフェリーの利用、自転車積載上の問題点・課題を確認。

1Day（12月3日）　糸島市→唐津市

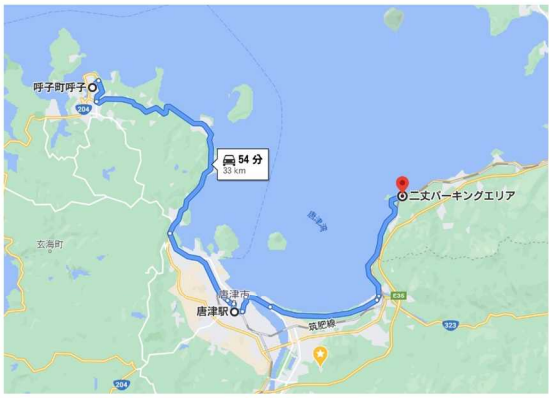
● 唐津市内のサイクリスト向け施設の調査、周辺の走行環境を調査も行います。

開始	終了	移動手段	行程
9:30			集合
10:00	10:30	オリエン	ルート説明・オリエンテーション
10:30	12:00	自転車	呼子～唐津市街地 （唐津城、曳山展示場、旧高取邸他）
12:00	13:00	昼食	
13:00	14:00	自転車	唐津市街地～二丈PA（休憩）
14:30	15:00	自転車	二丈PA～虹の松原　＊二丈PAで離脱可能
15:00	15:30	軽食	虹の松原 唐津バーガー
15:30	16:00	自転車	虹の松原～唐津市街地
16:00	17:00		振り返りワークショップ（御宿海舟泊）

2Days（12月4日）　唐津→壱岐→博多

● 唐津から壱岐の接続性および壱岐島内の課題を調査。唐津から壱岐、壱岐から博多港へ自転車を移送した場合に発生する様々な課題やニーズを重点的に押さえます。

開始	終了	移動手段	行程
8:20			唐津東港
8:50	10:45	フェリー	唐津東港～印通寺港
10:45	11:00		港設備確認
11:00	12:00	自転車	印通寺～芦辺周辺
12:00	13:00	昼食	芦辺周辺
13:00	14:30	自転車	芦辺周辺～猿岩
14:30	15:00	休憩	猿岩
15:00	16:00	自転車	猿岩～壱岐歴史公園
	17:00		ゴール

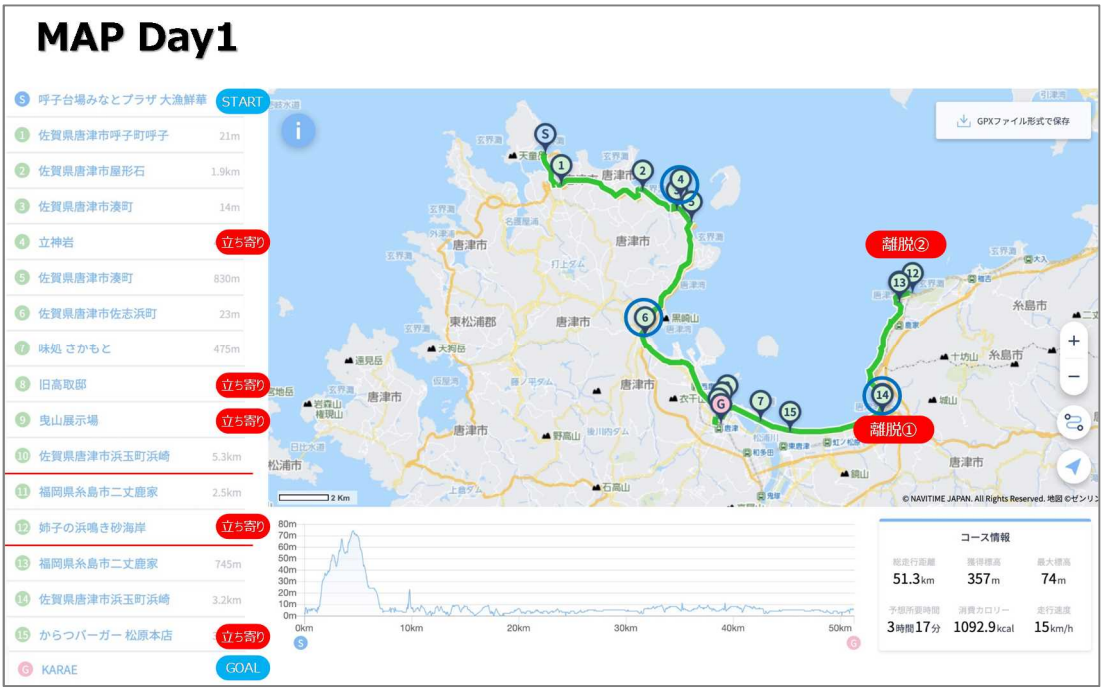


図：既存資料及び現地確認を踏まえたモデルルート案の設定

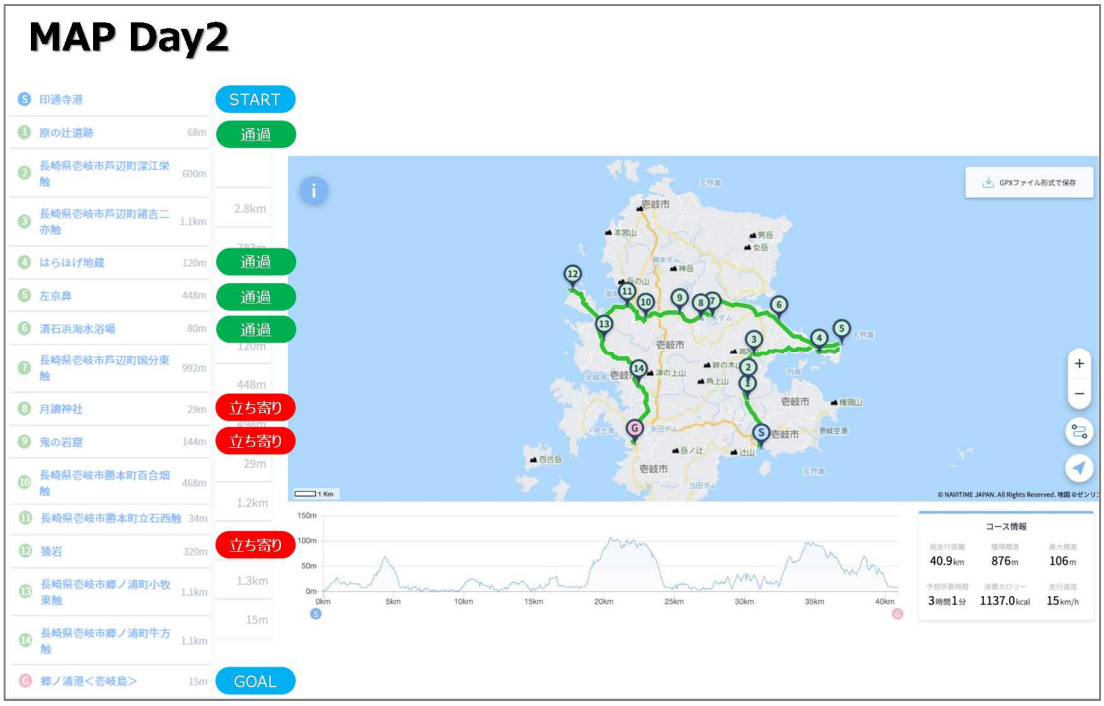
4．サイクリスト招聘したモデルルートの確認

4-1 モデルルート視察ツアーの設定

- 前章の既存資料及び現地調査結果を踏まえて、モニターツアールートの詳細検討を行った。
- 前章のモデルルートの詳細検討については、サイクリスト、専門家に一度、試走してもらい、その結果を踏まえて、事務局調整を行ったうえで設定した。
- 設定にあたっては」本調査事業の趣旨・目的である「自転車で海を渡るサイクルツーリズム」から玄界灘の沿岸道路を走行し、唐津、壱岐間をフェリーで移動し、観光地、地元の食に触れてもらう、１泊２日を基本としたコースを検討した。
- モデルルート（視察ツアー）は以下のとおり。



図：視察ツアーモデルルートの設定（唐津エリア）



図：視察ツアーモデルルートの設定（壱岐エリア）

4-2 モデルルート視察ツアーのしおり作成（現地確認計画作成）

・ 前節で設定したモデルルート（視察ツアー）を安全・安心して参加できるよう「しおり（現地確認計画書）」を作成した。

国土交通省観光庁　観光地域動向調査事業

自転車で海を渡るサイクルツーリズム
視察ツアーのしおり（最終版）

令和2年12月3~4日

走行会概要

サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会が策定する福岡・唐津・壱岐トライアングルルート（仮）の走行環境の調査およびプロモーションを兼ねたモニターライドを実施します。
初日は唐津市呼子エリアから唐津市街地、虹の松原を経て糸島二丈PAまで総距離約50km。
２日目は壱岐にわたり印通寺港から反時計廻りで郷ノ浦港まで総距離約45km。
ゲストライダーにプロロードレーサーの黒枝士揮選手とサイクリングYoutuberの第一人者であるけんたさんを招聘。
またサポートライダーとして山田大五朗氏をアドバイザー兼ガイドに採用します。

【行　　程】 Day1 2020年12月3日（木）9:30集合　10:00スタート
集合：呼子台場 大漁鮮華　　解散： 唐津駅
※移送が必要な方は8:45@唐津駅南口集合（自転車はBiLバン、人はKCSにてピックアップ）
Day2 2020年12月4日（金）8:20集合　8:50フェリー出港
集合：唐津東港　　解散： 博多港
【募集締切】 11月16日（月）
【参加資格】 事前受付必須の招待性のイベントになります。
一般参加は原則受け付けておりませんので事務局にお問い合わせください。
【参 加 費】 不要（保険・軽食は各自でご用意ください）※参加費徴収なし
【問 合 せ】 事務局　竹林（tel:080-9600-3884）
【備　　考】 ・出発地点への移動または解散地点からの移動は各自乗り合わせにてお願いいたします。
・起伏のあるルートになります。ロードバイク相当以上での装備を推奨します。
・レンタサイクルは３台準備予定
・前後にライトの携行をお願いします。
・グローブ・ヘルメット・サングラスをご持参ください。レンタルはございません。
・雨天決行になりますので雨具を持参ください。
【主　　催】 （仮称）サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会

サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会 2

集合・解散場所・宿泊について

更衣室について

自転車乗車組の荷物の移送はサポートカーにて行います。
更衣室の必要がなければ原則準備はしない。
トイレのレンタルは集合場所の呼子台場 大漁鮮華　をご利用ください。

駐車場について

Day1に車でお越しの参加者やスタッフは大漁鮮華の駐車場をご利用ください。

@呼子台場 大漁鮮華
〒847-0303 佐賀県唐津市呼子町呼子１７４０－１１

フェリーについて

ツアーにかかる交通費はKCSにて精算。現地や帰路にかかるまでの交通費は各自負担でお願いします。
予約は事務局にて行います。

宿泊について

ツアーにかかる宿泊・予約費用はKCSにて精算。現地や帰路にかかるまでの宿泊費用は各自負担でお願いします。
ゲストの宿泊施設は事務局で手配済みです。

食事について

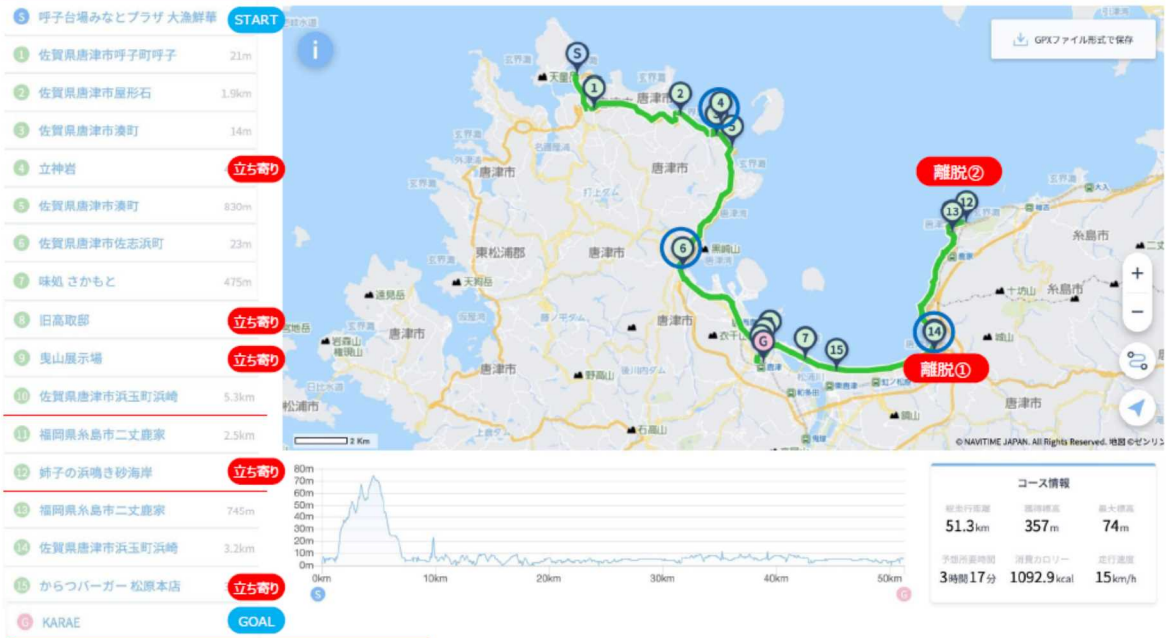
ツアーにかかる食事はKCSにて精算します。補給食や飲みものは各自で準備ください。
１日目と２日目の昼食は事務局にて予約します。

サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会 3

タイムスケジュール Day1

開始	終了	移動手段	行程	備考	サポートカー
9:30			呼子台場 大漁鮮華		・先頭、先回り：唐津観光協会、運輸局 ・最後尾：KCS、事務局
10:00	10:15		挨拶・ブリーフィング	司会：KCS佐野 / 挨拶：事務局長 ゲスト挨拶：けんたさん、黒枝士揮選手 ブリーフィング：山田大五朗	
10:15	10:40	自転車	呼子朝市～湊の立神岩		**・立神岩入り口(no.2)** ・立神岩駐車場
11:00		通過	唐房交差点		**・分岐点三叉路(no.6)**
11:20 厳守	12:30	昼食	昼食：味処さかもと	ちゃんぽん＋にぎりセット ※11:20着で11:30に昼食がベストのこと	・さかもと付近コインパーキング
12:30	13:15	自転車	唐津市街地視察	旧高取邸～曳山展示場	・旧高取邸駐車場 ・曳山展示場駐車場
13:15	13:30	自転車	浜玉支所	離脱ポイント① 離脱した方は自走でKARAE集合	**・分岐点三叉路(no.10,14)**
13:30	14:00	自転車	浜玉支所～二丈PA		・二丈PA駐車場
14:00	14:30	休憩	二丈PA	離脱ポイント② 移送希望者をピックアップ	事務局サポートカーにバイク 人物は手分けして移送
14:30	15:00	自転車	二丈PA～唐津バーガー		
15:00	15:30	休憩	唐津バーガー 虹の松原本店	KCS車にて先回りして事前注文	・唐津バーガー駐車場
15:30	16:00	自転車	虹の松原～唐重KARAE		
16:00	17:00		振り返りMTG@KARAE内会議室	※予約済 進行：事務局 竹林	・KARAE付近のコインパーキング
宿泊			第一ホテルリベール、唐重Karae		

MAP Day1



自転車NAVITIME

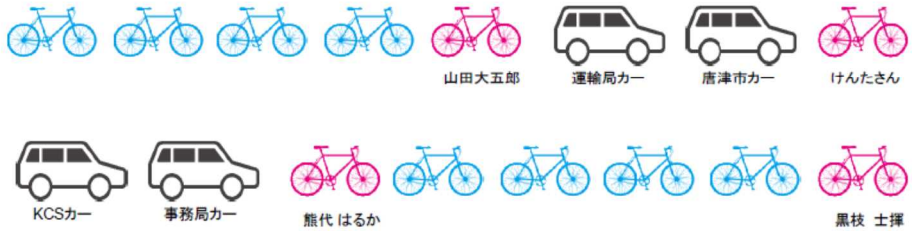
スマホからこのコースを見る →

地図URL
https://www.navitime.co.jp/coursebuilder/course/c0b36dddb6f74796b500b6e1aefbabc5

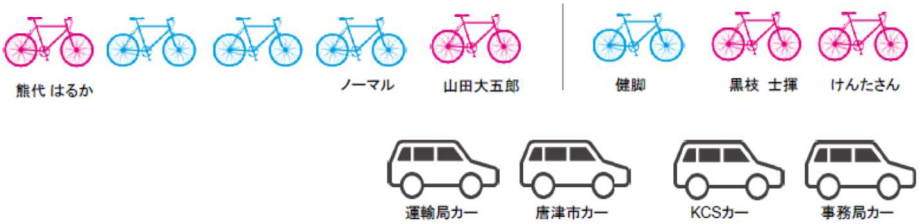
サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会 5

スタッフ対応 DAY1

フォーメーションA（浜玉支所まで）



フォーメーションB（後方部隊移送後）



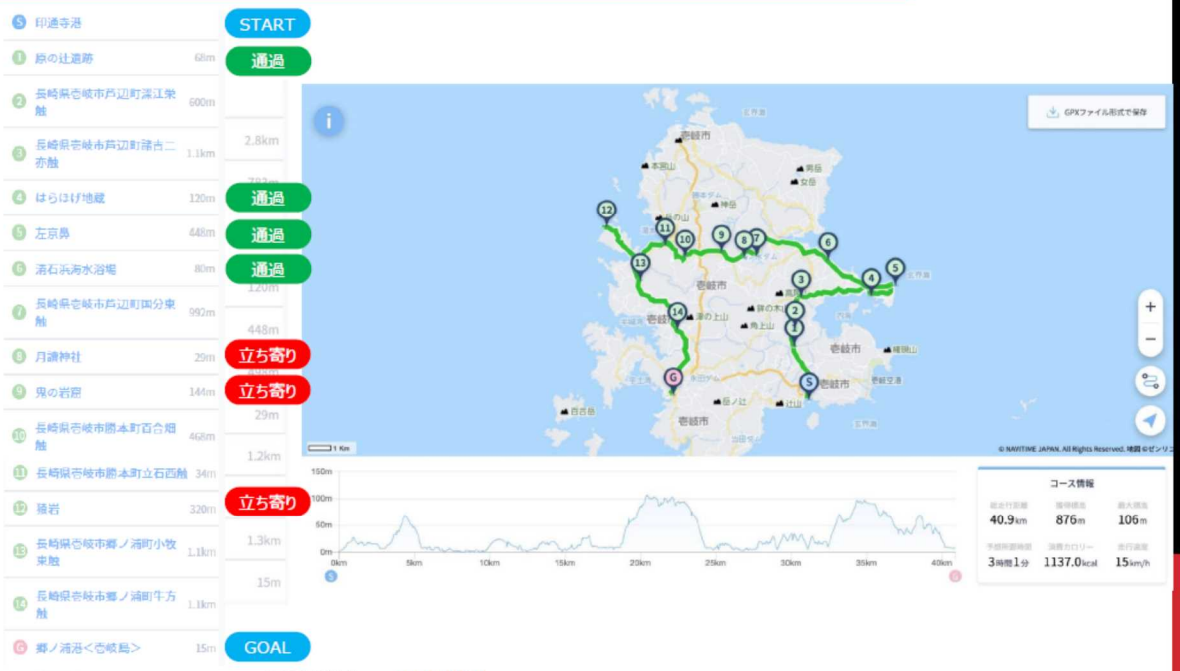
サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会 6

タイムスケジュール Day2

開始	終了	移動手段	行程		サポートカー
8:20			唐津東港	自走で港集合（荷物はKCS車）	・先頭、先回り：壱岐車、運輸局、KCS ・後方：事務局、唐津
8:50	10:35	フェリー	唐津東港～印通寺港	自転車はBike is Life号に乗せる	
10:45	11:00		港設備確認・ブリーフィング		
11:00	12:10	自転車	印通寺～芦辺港周辺 (原の辻→はらぼけ地蔵→左京鼻)	原の辻、はらぼけ地蔵は通過します。 左京鼻トイレ休憩	・はらぼけ地蔵（撮影ポイント） ・左京鼻駐車場
12:10	13:10	昼食	芦辺付近公共施設 屋根付きの施設相談	@ちりとり自由食堂 キーマカレー	・KCS車昼食ピックアップ
13:10	15:00	自転車	清石浜～猿岩 (月讃神社→鬼の窮古墳)		・月讃神社 ・鬼の窮古墳
15:00	15:15	休憩	猿岩		以降、順次ピックアップ移送
15:10	16:30	自転車	猿岩～郷ノ浦港 (→⑦鬼の足跡→郷ノ浦港)	猿岩から２チームに分かれて走行 健脚チーム：鬼の足経由～郷ノ浦 後方チーム：鬼の足跡経由せずに郷ノ浦へ	
16:55	18:10	ジェットフォイル	壱岐(郷ノ浦)→博多	けんたさんと黒枝士揮さんのみジェットフォイルで博多港へ（自転車は輪行にて）	
17:45	20:10	フェリー	壱岐(郷ノ浦)→博多	上記２名以外の方々は、フェリーで博多港へ	

サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会 7

MAP Day2



自転車NAVITIME
スマホからこのコースを見る→

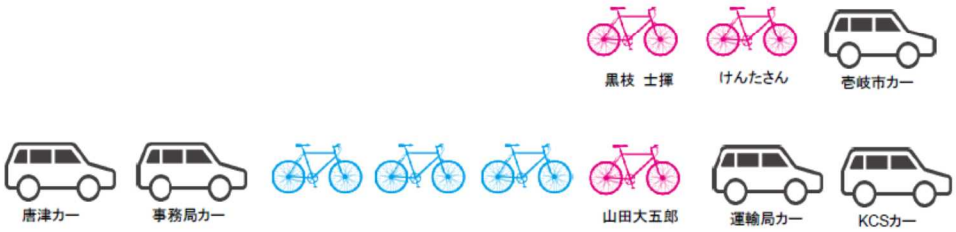
地図URL
https://www.navitime.co.jp/coursebuilder/course/b1a55a9773c8484499dca9fb404e8101

サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会 8

スタッフ対応 DAY2

フォーメーションA（猿岩まで）

フォーメーションB（猿岩から）



サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会 **9**

調査項目①

評価項目ナンバー		項 目	評価基準 ※MAP上に記入してください	備 考
1	道路評価	車道の左右に充分な幅（自転車が自転車を追い越せる）がある	A B 無し C D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
2		取付支道（信号のない交差点）を認識できる	A B 無し C D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
3		コンビニ、店舗などの車の出入りや、 病院、学校等の歩行者の認識がしやすい	A B 無し C D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
4		自転車の運転に支障がない【車道左の勾配】である	A B 無し C D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
5		自転車の運転に支障がない【路面の状態】である ※わだち割れ、ひび割れ、マンホールなどの滑りやすさ等	A B 無し C D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
6		自転車の運転に支障がない【排水溝（グレーチング）】である ※段差、滑りやすさ、穴の大きさ等	A B 無し C D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
7		安全に走行できる【橋やトンネルの道幅】である	A B 無し C D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
8		走行中、【バス停留所の位置】の確認ができる	A B 無し C D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
9		交差点が渡りやすい	A B 無し C D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
10		交差点の信号待ちの【待機場所】が安全である	A B 無し C D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
11		安全に走行できる坂道である	A B 無し C D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
12		安全に走行できるカーブである	A B 無し C D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
13		安全に走行できる路肩である	A B 無し C D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	

サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会 **10**

調査項目②

評価項目ナンバー		項　目	評価基準 ※MAP上に記入してください	備　考
14		自転車と路線バスの走行位置、車間について	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
15		【歩道の横断防止柵や段差】について	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
16		路線バスの専用・優先レーンについて	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
17		バス専用レーン規制時間と時間外との違いについて	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
18		交差点の信号サイクルについて（自転車が走りやすいか）	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
19		交差点の自転車横断帯について	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
20		その横断帯の自転車歩行者専用信号について	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
21		【車用の左折専用レーン】がある場合の 【自転車の直進】について	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
22		第一車線に路上駐車車両について	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
23		車（特に大型車）の通行について	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
24		歩道上の自転車通行空間について（指定されているか等）	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
25		自転車利用者は歩道と車道の通行について	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
26		夕暮れや夜間のサイクリングコース内の照明について	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
27		車道を逆走する自転車について（どのような自転車か）	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
28		道路交通標識について（自転車でもわかりやすいか）	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
29		自転車の追い越しや速度と距離について （自転車を意識しているか）	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	
30		車のドライバー、自転車利用者のルール厳守やマナーについて	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	

サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会 **11**

調査項目③

評価項目ナンバー		項　目	評価基準	
101	施設評価	拠点となるスポットに コインパーキングなどの駐車場はあるか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
102		魅力ある観光スポットが点在しているか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
103		観光スポットに駐輪スペースはあるか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
104		観光スポットの駐輪スペースには鍵で自転車を固定できる設備はあるか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
105		PHOTOスポットが点在しているか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
106		PHOTOスポットに駐輪スペースはあるか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
107		PHOTOスポットの駐輪スペースには鍵で自転車を固定できる設備はあるか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
108		グルメスポットが点在しているか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
109		グルメスポットに駐輪スペースはあるか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
110		グルメスポットの駐輪スペースには鍵で自転車を固定できる設備はあるか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
111		自動販売機・コンビニなど給水や休憩ができる施設が充分に備わっているか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
112		近隣の宿泊施設に自転車を室内保管できる施設があるか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
113		コース周辺に自転車（スポーツ自転車）を整備できるショップはあるか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
114		緊急時に自転車とサイクリストをサポートできる 車両と設備、人材が備わっているか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
115		自転車のレンタルが可能か？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
116		宅配が可能なお土産屋があるか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
117		トイレなどの設備が点在しているか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
118		シャワーやロッカーの設備は整っているか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください
119		電子マネーが使える施設が点在しているか？	A　B　無し　C　D 良い・少し良い・普通・少し悪い・悪い	※場所をMAPに記してください

サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会 **12**

連絡体制

注意事項

サイクリング：ルール

○道路規制を行っていない一般道を使用しています。必ず交通法規を遵守して走行してください。
○一時停止場所では確実に停止してください。
○自転車運転中は携帯電話を使用しないでください。
○自転車同士の車間距離を十分にあけて走行してください。
○前走者を追い越す場合は、後方確認の上、右から声をかけながら追い越してください。
○長時間のサイクリングですので、必ず十分な水分とエネルギーを補給してください。
○エイドステーション、横断歩道や歩道においては、歩行者を最優先し、自転車横断帯のある横断歩道は、横断帯を通行してください。
○必ず全てのエイドステーションに立ち寄ってください。
○参加人数に応じて5～10名のグループに分けてスタートします。

○ライト、リフレクターは必ず装着してください。
○防寒具・雨具など携行してください。
○ヘルメットとグローブの着用は必須です。
○ドリンクボトルを必ずお持ちください。
○万が一のパンク・トラブルに備え「予備チューブ」・「アーレンキー」等の準備をお勧めします。
○自転車の整備・点検などは各自の責任で必ず行ってください。

注意事項

ハンドサイン

備品リスト

	項目	必要備品	数量		手配先
■制作物	運営関連	マニュアル			
		台本			
■各ポジション	受付	コースマップ	40枚		
		参加者名簿	2枚		
		筆記用具	1式		
		クリップボード	1枚		
		長テーブル	1台		
		受付サイン	2枚		
	休憩ポイント補給車	ウェットティッシュ	1個		
		水	48本		
		自転車用空気入れ	1本	英式・米式・フランス式等に対応したもの	
		チューブ	数本		
		カゴ	1個		
		ゴミ袋	数枚		
		救急箱	1個		
	伴走対応車	サポートカーサイン	1枚		
		自転車用空気入れ	1本	英式・米式・フランス式等に対応したもの	
	立哨	矢印サイン（右）		予備2枚	
		矢印サイン（左）		予備2枚	

事務局で準備します

4-3 モデルルート視察ツアー参加者

- モデルルート視察ツアーについては、「サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会（事務局：唐津観光協会）」のメンバー及び関係者を対象に実施し、安全面、管理面を踏まえ、「一般モニター募集」は行わず開催した。
- 参加メンバーは以下のとおり。

表：参加メンバー

団体名	参加者	参加状況		自転車ツアー参加可否
		12月3日	12月4日	
福岡県商工部観光局観光政策課観光地域づくり係	長井　琢哉	○	×	○
	西田　光孝	×	○	○
福岡市経済観光文化局 観光コンベンション部地域観光推進課	馬場　英彰	○	○	○
佐賀県地域交流部文化・スポーツ交流局観光課	大島　宏美	○	○	○
唐津市経済観光部観光課	堤　さおり	○	×	×
壱岐市企画振興部観光課	若宮　廣祐	×	○	×
	他1名	×	○	×
壱岐市　イゾラーニ・ファルコーネ	村田　和也	○	○	○
	原田　ゆうじ	○	○	○
	大阪　明	×	○	○
	大神　久幸	×	○	○
（公財）福岡観光ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝﾋﾞｭｰﾛｰ　観光事業部	中川　久美	○	○	○
（公社）福岡県観光連盟　企画管理部	古賀　晴美	×	×	○
佐賀県サイクリング協会	服部　二朗	○	○	○
（一社）壱岐市観光連盟　誘致推進班	徳永　満智子	×	○	×
	川谷　和昭	×	○	×
（一社）糸島市観光協会	高田　哲助	×	×	○
九州郵船（株）　営業部営業課	花田　智洋	×	○	×
九州運輸局	篠田　祐記	○	○	×
	南　崇	○	×	×
	山口　奈七	×	○	×
（一社）唐津観光協会	山根　路子	○	○	×
	市丸　真弓	○	○	×
	髙島　英治	○	○	○

※招聘したサイクリストを除く参加者。（順不同）

4-4　モデルルート視察ツアー結果（現地写真）

・１日目（呼子～唐津～二丈）

【挨拶・ブリーフィング：呼子台場】

【挨拶・ブリーフィング：呼子台場】

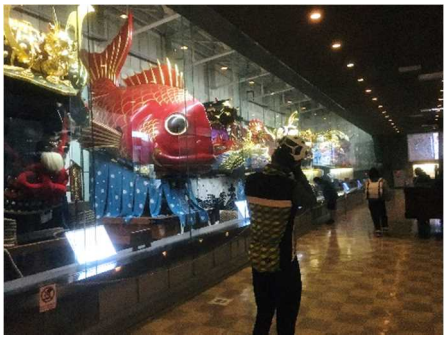
【尾形石付近】

【湊の立神岩】

【昼食：味処さかもと】

【唐津市街地視察：旧高取邸】

【唐津市街地視察：曳山展示場】



【唐津市街地視察：曳山展示場】

【虹の松原】

【虹の松原】

【虹の松原：唐津バーガー】

【虹の松原】

写真：モデルルート（視察ツアー）　１日目　唐津のツアー状況

・２日目（唐津～壱岐）

【印通寺港】

【設備確認・ブリーフィング：印通寺港】

【設備確認・ブリーフィング：印通寺港】

【はらぼけ地蔵】

【はらほげ地蔵】

【左京鼻】

【芦辺大橋】

【昼食：クオリティライフセンターつばさ】

【月讀神社】

【鬼の窮古墳】

【猿岩】

【猿岩】

写真：モデルルート（視察ツアー）　２日目　壱岐のツアー状況

4-5 モデルルート視察ツアーの意見交換まとめ

- モデルルート視察ツアーが終了した段階で、参加者と招聘したサイクリスト、委員メンバーで意見交換を実施した。
- 意見交換の開催については、以下のとおり。

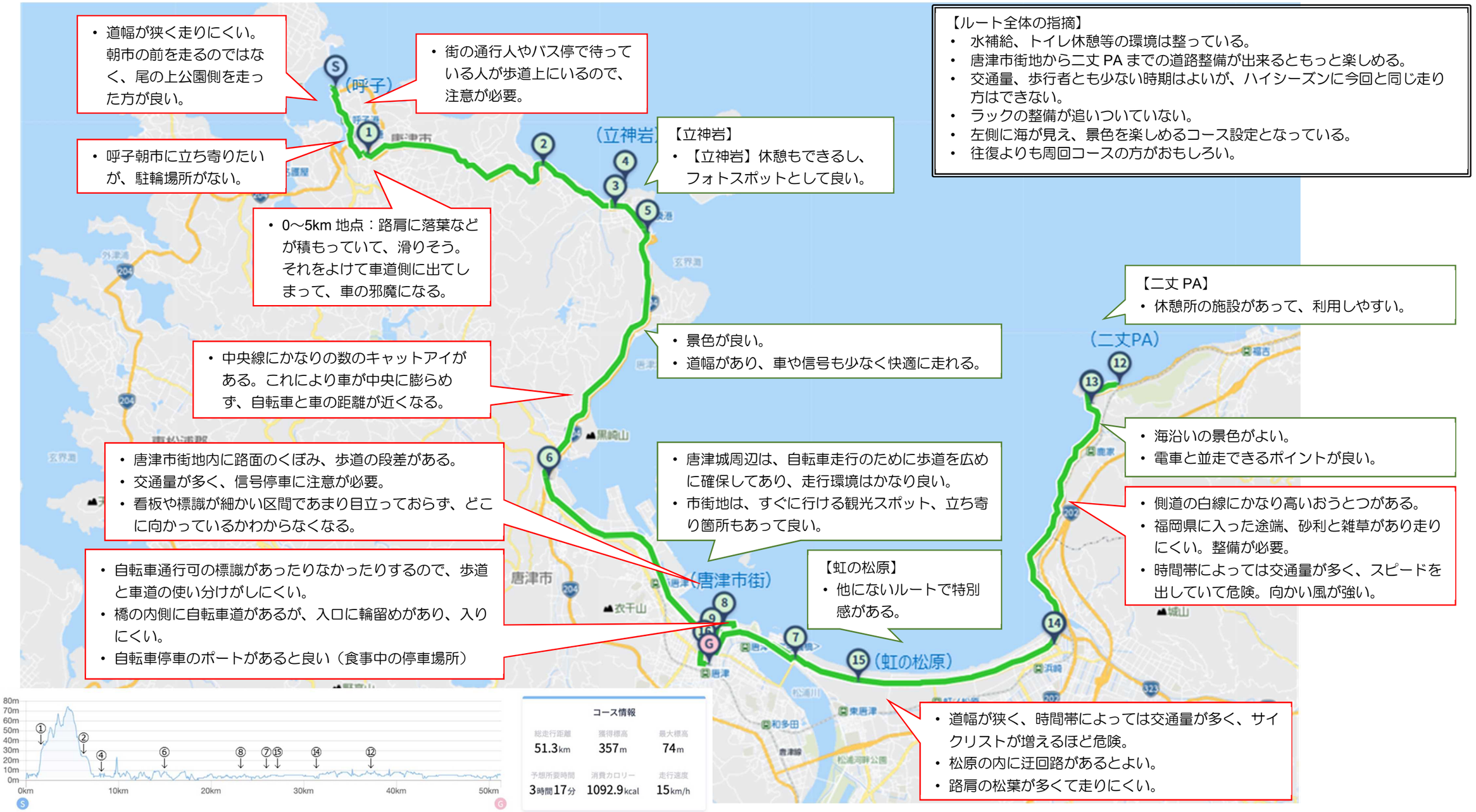
１日目（唐津）：視察ツアー終了時に、意見交換を実施、発表、意見共有を実施。
２日目（壱岐）：視察ツアー終了時、船の出向時間等の関係で後日レポート提出。

- 参加者のモデルルート視察ツアーに対する指摘、魅力的なポイントは次頁のとおり。

写真：モデルルート（視察ツアー）終了時の意見交換会状況
（1 日目唐津モデルルート走行後に開催）

1） 唐津エリア

指摘ポイント	指摘内容	とりまとめ
道路環境	・呼子周辺：道路幅が狭い区間、駐輪場の整備に対する指摘。尾上の上公園側のルートが良い。 ・虹の松原は、路肩幅が狭く、交通量が多く、安全性に対する指摘。 ・歩道内の凸凹、くぼみ等があり、走行上の安全性に対する指摘。 ・案内表示が細かく、わかりにくい部分がある。自転車通行可の区間がわかりにくいなどの指摘。	・狭幅員等の区間は、自転車通行帯の路面標示等が必要。 ・自転車通行可の歩道については、わかりやすい案内、誘導整備が必要 ・サイクルルートに指定された場合は、凸凹、くぼみの整備が必要。
観光 休憩環境	・自動販売機があり、休憩できる箇所がある。フォトスポットとしても良い。 ・玄界灘を一望でき、魅力的な景観となっている。 ・虹ノ松原は、他にはないサイクリングルートで、特別なルート。虹ノ松原から二丈ＰＡ間は電車との並走ができる。	・休憩施設は、点在。コンビニ等との協力が今後必要。 ・サイクルルートとしての景観、楽しみ等魅力は多く、高評価。 ・特に虹の松原は参加者の評価が高い。



図：モデルルート（視察ツアー）参加者の意見交換結果（唐津エリア）

【参考】視察ツアー参加者意見一覧（唐津）

団体名	参加者	意見	Ⓢ～①呼子	①呼子～②屋形石	②屋形石～④立神岩	④立神岩～⑥	⑥～⑧市内	⑧市内～⑦さかもと	⑦～⑭虹の松原	⑭～⑫二丈パーキング
佐賀県 文化・スポーツ交流局観光課	大島　宏美	・電車との併走良い。 ・左側に海が見えるようにコース作りするのが大事。今回のコースはそのようになっていた。 ・長崎～有田～伊万里～鎮西・呼子～唐津～壱岐～唐津～糸島みたいに、もっと広域にするのも良いのでは。 ・ラックの整備が追いついていないので、唐津市、唐津観光協会とともに力を入れたい。		・Ⓢ～⑥通行量ほどよく、路面一部悪い部分もあったが走りやすい。一番走行環境がいい区間。				・歩道の段差がロードだときつい。	・車が多いけどいい感じ。	・路側帯の白線の凹凸がつらい。 ・鹿家駅付近：砂利との境界がわからない。 ・糸島市内：側道の雑草でケガしそう。
佐賀県 サイクリング協会	服部　二朗	・左側が海沿いのコース設定となっている。 ・立ち寄って過ごせる場所が必要。呼子の朝市、高取邸等。周遊させるための立ち寄りポイントを地域から掘り起こす。 ・サイクルツーリズムに大事なのは、立ち寄って地域の人と交流すること。 ・サイクルラックを県内に今年度 60 箇所設置、立ち寄りポイントを増やしていきたい。 ・ストレスのない農道、一般車両が通らないルートを周遊ルートとする。地元ガイドが必要になるので、連携プレイでツーリズムを深める。	・呼子朝市に立ち寄りたい。		・立神岩は下りからのロケーション良し。	・直売所みなとん里に立ち寄りたい。 ・車少なく眺め良し。	・コスモスがきれい	・街中、高取邸は歩道が走りにくい。	・海岸べりの車が通らない区間が良い。	・車少ない。 ・波キラキラ、午後の日差し眺め良し。
壱岐市 イゾラーニ・ファルコーネ	村田　和也	・唐津市街地から二丈 P までの道路整備が出来るともっと楽しめる。 ・全体的に交通量が多いので、道路側面の除草作業や、唐津市内の道路で、アスファルト舗装と歩道の間の排水路の段差は付けない方が良い。 ・スタートが呼子だと、車で自転車を持ってきた人は、壱岐が終わった後取りに帰らないといけない。 ・バスなどのツアーなら呼子からのスタートで良い。 ・唐津駅や唐津港スタートなら駐車場も多く、終了した時に便利が良い。 ・唐津港のフェリー乗り場をスタートにすれば、遠くから車で来た人は便利。壱岐も同じ港をゴールにすれば便利が良い。 ・スタートを呼子・唐津駅・唐津港などいくつかのパターンがあってもよいのでは。	・呼子の町の路地は狭かったが、風情があってよい。	・呼子からの登坂も気になるほどではなくて良い。		・⑤～⑥海岸沿いを下りで走行出来て、見晴らしも良くて楽しめた。		・唐津市街地内の路面のくぼみ、段差があり困った。 ・⑦あたりの交差点、車両が多いので注意が必要。	・車幅が狭く、初心者はストレスかも。	・路肩に出てくるほどの枯草等の除草作業を行って欲しい。 ・⑫休憩所の施設があって、利用しやすい。 ・⑬～⑭景色は良いが、路面が悪い。時間帯によっては交通量が多い。
福岡県 観光政策課	長井　琢哉	・唐津駅→城→松原までコンパクトにまとまっていて観光しやすい印象。	・休憩スポットが点在。	・登坂は多少あった方が良い。もう少しあっても良いくらい。	・立神岩：休憩もできるし、フォトスポットとしてかなり良い。			・唐津城周辺は、自転車走行のために歩道を広めに確保してあり、走行環境はかなり良い。	・松原は迂回路があると聞いた。	・信号が少ないのは良い。 ・雑草があって走りにくい。整備が必要。
福岡市 地域観光推進課	馬場　英彰	・走行中に、手入れされた花壇がいくつかあり、華やかで気持ち良い。	・あいさつ中道雰囲気良。	・上りはまあまあきつい。	・②～③ロング下りの景観良。 ・所々樹木がはみ出ている。	・⑤～⑥段差解消。 ・⑤～⑥走行環境良。歩道広い。	・西唐津駅西側：横の白いライン上の突起が不要。	・高取邸、曳山展示場、唐津城は行きたい。	・虹の松原は気持ち良い。ガイドなしではキケンなエリアも。 ・からつバーガー美味。	・海風が強い。 ・舗装状態はあまり良くない。 ・横の白いライン上の突起が不要。 ・⑫休憩スポットとして良。
（公財）福岡観光ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝﾋﾞｭｰﾛｰ観光事業部	中川　久美	・天気が悪い時が、慣れていない人にとっては不安。・唐津焼の窯元を加えるとおもしろい。・初心者として余裕をもって楽しめるルート。女性でも、ルート上に様々な店などがあり（観光施設）、時間をかけても楽しめるエリア（”食”も比較的 PR できるバラエティさ）。・＜広域連携＞道路事情（自転車目線）の比較→”好奇心”持てる情報として、あえて県境の事を伝えても良いかも（福岡県民）。・唐津から JR を利用して帰っていただけると良い。	・街の通行人やバス停で待っている人が歩道上にいるので、気を付けなければならない。			・⑤～⑥走ってきた対岸が見えることを、土地勘のない方は気づかないかも。		・⑧～⑦市内の信号停車に注意。・⑦自転車停車のポートがあると良い（食事中の自転車の停車場所）。	・「虹の松原」は他にないルートで特別感がある。・松の落葉が季節柄たまっており、走りにくかった（車も多い）。	・海沿いのルートは良かった（余裕がなくても気持ち良く走れた）。・側面の雑草に注意。・電車と並走できるポイントは good。・県境の道路事情

団体名	参加者	意見	Ⓢ～①呼子	①呼子～②屋形石	②屋形石～④立神岩	④立神岩～⑥	⑥～⑧市内	⑧市内～⑦さかもと	⑦～⑭虹の松原	⑭～⑫二丈パーキング
（公社）福岡県観光連盟企画管理部	古賀　晴美	・福岡に比べ、車の運転手の対応がやさしい。 ・ほぼ一直線なので、わかりやすいルート。 ・サイクルスタンドを見かけなかった。 ・挨拶等、サイクリストを歓迎している。	・Ⓢ民家、商店街を通るスタートは、今から何が起こるんだろうとワクワク感がある。 ・Ⓢ～①坂はきついが、スタートしたばかりなので登りきった達成感はサイクルツーリズムの魅力につながる。					・⑧道が狭くなり、少し怖い。	・サイクリングの楽しさを一番感じた。	・福岡県に入った途端、砂利と草。道路が悪く走りにくい。
（一社）糸島市観光協会	高田　哲助	・一般の方向けに、車が来ない道、走りやすくて安全なルートを提案すべき。唐津市で言えば松浦川沿い。			・①～④変化あっておもしろい。 ・歴史的なポイントも多いので、ガイダンスがあるともっと楽しめる。	・七ツ釜～唐房までは道幅があって景色も良く、車も少なくて楽しめる。矢羽根だけつけるとルート化できそう。		・市内はやはり走りにくい。矢羽根をつけてほしい。	・松原の雰囲気は良いが道が狭い。レーンを整備してほしい。	・ライン上がデコボコ。 ・道が狭く、バイクレーン、歩道ともに未整備。 ・車もスピードを出していてコワイ。国に整備を望む。
（一社）唐津観光協会	髙島　英治	・冬場のこの時期、北風が強くなる日が多いのと、虹の松原の路肩の松葉が多い点が泣き所。 ・二丈～呼子は、どのルートをとっても交通量は多い。自転車慣れしているかいないかで印象に差が出る。	・道幅が狭く走りにくい。朝市の前を走るのではなく、尾の上公園側を走った方が良い。			・⑥手前：景色良、幅あり走りやすい。			・路肩の松葉多し。 ・幅なし。	・夕景良。 ・景色は良いが、路肩が狭い。
ゲスト	けんたさん	・全体的に景色はきれい。 ・ロケーションは良いが、車が多くサイクリングコースとしては慣れていない人は怖いかも。 ・道路状況はそこまで気になる所はない。 ・撮れ高は十分。						・市街地は、すぐに行ける観光スポット、立ち寄り箇所もあって良い。	・森の中に道作ったらいいのでは。もう少し整備が必要。 ・からつバーガー：おいしかった。	・海沿いは気持ちいい。
	黒枝士揮	・サイクリングもいいけど、海岸線はトレーニングにいい。・全体的に難易度が低く初心者向き。・往復よりも周回コースの方がおもしろい。		・0～5km 地点：路肩に落葉などが積もっていて、滑りそう。それをよけて車道側に出てしまって、車の邪魔になる。		・7～10km 地点：景色が最高。・①～⑥ロケーションが最高。車は少ないし走りやすい。信号も少なく快適に走れる。			・道は細いが雰囲気はいい。・時間帯によって車が多くて危ない。	・⑬～⑭路面状況があまり良くない（帰り）。・向かい風が強い。
Bike is Life	山田大五朗	・飲食等店舗の表にサイクルラックがあるなど、サイクリストを呼びやすい環境があれば、それを PR することでサイクリストの需要を掘り起こせる可能性がある。 ・水補給、トイレ休憩等の環境は整っており、走りやすい。ただ、唐津の道はまだまだ自転車で走ることが想定されていない。 ・中央線にかなりの数のキャットアイがある。これにより車が中央に膨らめず、自転車と車の距離が近くなる。 ・今日は交通量、歩行者とも少なかったが、ハイシーズンに今日と同じ走り方はできない。						・⑦付近：自転車通行可の標識があったりなかったりするので、歩道と車道の使い分けがしにくい。整備が必要。 ・橋を渡る時に、橋の内側に自転車道があるが、福岡側から来た時に、橋に入る最後の入口に輪留めがあり、入りにくい。	・道幅狭い。走りにくい。サイクリストが増えるほど危険。もし松原の内外に道路があるならば、そちらのコースの方が安全かもしれない。	・雑草が多い。 ・側道の白線にかなり高いおうとつがあり、リスクを感じる。
サイクルガイド補佐	熊代　はるか	・福岡からのルートを策定し観光客を招き入れたいのなら、今回のルートを逆にしてみると面白いかも。海→森→市街地（お金落とす）、市街地→森→海も◎。 ・サイクルツーリズムの環境が整った際に、ラックやサイクルオアシスでサイクリストにやさしい街になっていけばいい。	・呼子は絶対見たいが、駐輪場所が欲しい。	・呼子を左折する所の車の行き来が激しい。				・看板や標識が細かい区間であまり目立っておらず、どこに向かっているかわからなくなる。	・⑦～⑫森→海のロケーションは good。	・海が強い場合、車道に倒れないか心配。

2） 壱岐エリア

指摘ポイント	指摘内容	とりまとめ
道路環境	・道路舗装面が悪く、走行しにくいという指摘。 ・カーブが多く、見通し悪い区間があるという指摘。（月讀神社付近） ・観光名所である「猿岩」付近は側溝蓋がない、グレーチングが大きい、溝があるなどの指摘。 ・「はらほげ地蔵」周辺で設定したルートで分岐が多く、わかりにくい箇所があると指摘。 ・サイクルコースの設定を行う場合、分岐が多く案内等が必要と指摘。	・道路の凸凹、舗装環境を良くし、走行しやすい環境づくりが必要。 ・急勾配、カーブ区間があるため、視認性の確保が必要。 ・グレーチング等、サイクルルートに指定された場合は改善が必要。 ・サイクルコースを設定する場合は情報提供、案内看板の充実が必要。
観光 休憩環境	・サイクルツーリズムのコースとしては初心者から上級者まで楽しめる地域・環境という評価。 ・地元サイクルチームがあり、サイクリストへの理解が深く、地域住民の意識醸成、受入環境が整っていると評価。 ・自動車の交通量が少なく、景観も良く、サイクルコースとしては良いと評価。 ・立ち寄りスポット、休憩施設等必要な要素はあるが、コンビニがなく、休憩するところが少ないと指摘。	・サイクルコースとして高評価。 ・初心者から上級者まで可能なポテンシャルがあると評価。 ・休憩施設、立ち寄り箇所等が少ないため、案内、情報提供が必要。 ・地域住民の受入意識を醸成。今後、設備・サービスの整備が必要。

図：モデルルート視察ツアー参加者の意見交換結果（壱岐エリア）

【参考】モデルルート視察ツアー参加者意見一覧（壱岐）

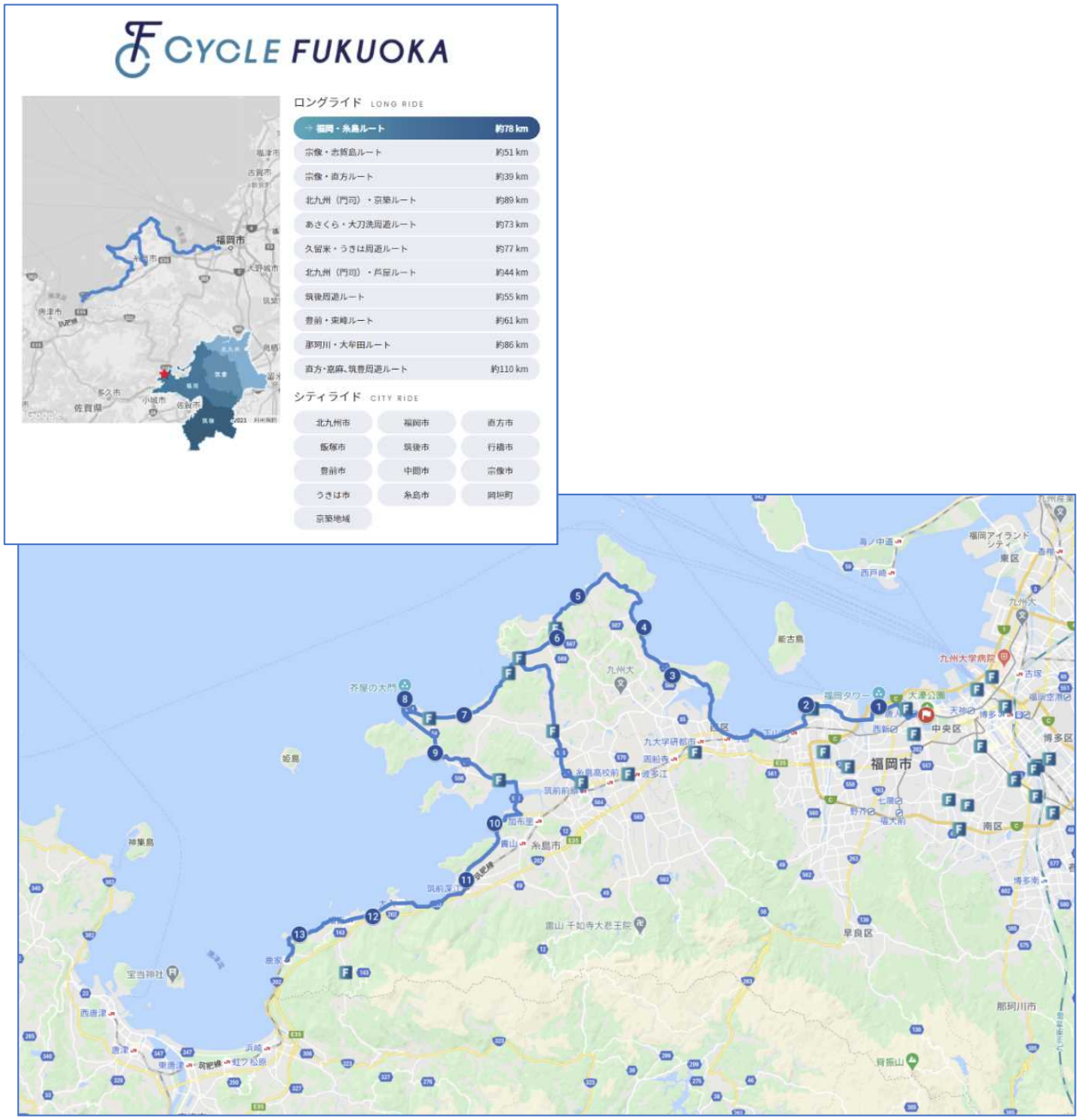
団体名	参加者	意見	Ⓢ～①	①～②	②～③	③～④	④～⑤	⑤～⑥	⑥～⑧	⑧～⑨	⑨～⑫	⑫～Ⓖ
佐賀県 地域交流部文化・スポーツ交流局観光課	大島　宏美	・アップダウンが激しい。ある程度乗り慣れていないと完走は厳しい。 ・町の人たちの雰囲気が良い。慣れている。迎え入れている。 ・港付近以外は車の量が少なく走りやすいが、稀に見る高齢ドライバーの運転は少しヒヤッとする。 ・観光地への看板が少ないイメージ。 ・島民の日常が見えるので楽しい。 ・地元のガイドがあるだけで安心。	・Ⓢツアー客とかぶると自転車の準備がこわい。車も多い。						・⑥～⑨このあたりのどこか、アスファルトではない舗装が走りにくい。		・側溝にふたがなく、何度か落ちかけた。 ・猿岩手前：工事区間の先がぼこぼこしている。	・Ⓖ手前：通行量が多くて走るのが大変。
壱岐市 イゾラーニ・ファルコーネ	村田　和也	・自転車の進路上に車を駐車している時もあったので、前方への注意力は必要。 ・路面の整備はとても良く走り易いので、自転車での観光は楽しめる。 ・全体的に車の交通量も少なく、自転車で観光するには適している。起伏が激しいので、タイムスケジュールを組むとすれば余裕をもって計画する必要がある。 ・見直した方が良いコースもあった。 ・（鬼の足跡）今回は行けなかったが、素晴らしい観光スポットなので是非通って欲しい。		・杉の木が大きくて見ごたえがある。		・小嶋神社に寄りたい。		・③～⑥景色も良くて自転車で走りやすい。サイクリスト目線で自転車専用道路を路面に示すだけで、サイクリストはより走りやすく感じる。	・⑥見晴らしが良いので、休憩所があっても良い。	・⑧自転車を立て掛ける所がない。 ・⑧トイレ等を完備してほしい。	・⑨古くなった売店が景観を崩している。 ・路面の整備が出来ている所を通った方が良い。	・⑫人気スポットの猿岩等の案内板がサイクリスト目線となっていれば、距離や方向の確認が出来る。他の観光スポットも然り。 ・⑫～景色も良くて自転車で走りやすい。サイクリスト目線で自転車専用道路を路面に示すだけで、サイクリストはより走りやすく感じる。
	無記名					・③右折注意 ・絶景道路	・道幅狭い。海岸道路を走った方がいい。	・町中通るより海岸線が良い。 ・絶景道程	・急坂		・絶景	・サイクルラック目立つ所に設置してほしい。
	無記名	・このコースを回る際、看板があると間違えず走れる。 ・各観光地、トイレのある駐車場にラックがあると良い。 ・港の三箇所には地元チーム寄贈のサイクルラックがあり、とても便利（猿岩の駐車場にもラックがある）。	・石田フェリーターミナルにサイクルラックがあり、サイクリストの方は大変ありがたい。				・左京鼻のトイレ駐車場にサイクルラックがあるとありがたい。				・猿岩入り口から猿岩までの道が悪くグレーチングに段があり走りにくい。壱岐の中でNo.1 観光地なので、道が広くて綺麗な方が良い。	
（公財）福岡観光ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝﾋﾞｭｰﾛｰ観光事業部	中川　久美	・歩道を走ることが少ない。走りやすそう。・唐津と異なり、途中立ち寄りスポット（コンビニ等）が少ない＝自然が豊か。ただ、程よく民家もあり安心できる。・前泊の方が良い（船酔い、到着が昼前）。同じく唐津コースも前泊だと、地元にさらに貢献できる。・車中からの感想ではあるが、上級コースだと思う。・今後の課題として、ルートはひとつではなく、複数ルート（上・中・初級コース）があると、全ての世代で楽しめる（選択肢がある）。・ルートの目印はユニバーサルデザイン（初心者でも分かる）→インバウンド対応。・夏も良いと思うが、サイクリングはオールシーズン楽しめる。壱岐は夏は観光客が多くなるが、冬場のPR にサイクリングは良い。	・開けた自然多。右手　酒蔵	・原の辻一支国王都復元公園：立ち寄りスポット・　自然（山）			・はらほげ地蔵：絶対立ち寄るべき・④～⑤急坂、車１台細道。先に絶景が見られる。	・⑤～：牛の放牧。絶景サイクルルート。自動車注（一本道）・車少ない。右手　自然（海）	・⑥～：街中（民家）・芦辺港周辺は車が多くなる	・⑧手前：車の通行量あり、カーブが多く見通し悪い。	・⑨～：アップダウン、山、細く対向車もあり、下り坂カーブ注意。・海岸沿いにルート変更。	・猿岩～鬼の足跡：アップダウン

団体名	参加者	意見	Ⓢ～①	①～②	②～③	③～④	④～⑤	⑤～⑥	⑥～⑧	⑧～⑨	⑨～⑫	⑫～Ⓖ
（公社）福岡県観光連盟企画管理部	古賀　晴美	・壱岐は、歴史的観光要素有り、絶景スポット有り、美味しいもの有り、福岡県からみたらうらやましい。・今回は日帰りの調査で半周だったが、壱岐１周にして滞在時間を延ばし、壱岐１泊で、その前後に唐津市様もしくは福岡で１泊して南九州へ、山口へ、しまなみ海道へとサイクリング旅の範囲が広がっていくと嬉しい。・今回の調査コースは、32 回という実績ある壱岐サイクルフェスティバルのコースの一部でもあるので、サイクリストにとっては何の問題もない。・自転車やトラックのタイヤが入りそうな、かなり大きな溝が所々あった。・初めてのお客様向けに、坂の難易度、ブルーライン、矢羽根、案内板、立ち寄りスポット、サイクルスタンド等を設置すれば、観光地あり、景色良しで国内外への PR は完璧だと感じた。・初心者向けに E バイクがあればうれしい。・サイクリストは、水分と少しの補給食しか持参できないので、飲食の立ち寄りスポットがところどころあればうれしい。										
（一社）糸島市観光協会	高田　哲助	・歴史あり、自然ありで見どころが詰まっている。自転車にちょうどいい広さ。九州のしまなみ海道になるポテンシャルはあると感じる。 ・道路は全体的に広めで、車も少なく、矢羽根がなくても気にならない。何よりロードバイクの認知があるので、島の人たちの目線が優しい。地元のライダーが一緒に走ってくれたのも大きい。交流と会話があると、思い出が全く違うものになる。 ・提言としては、E-Bike のレンタルと拠点整備をすると、観光につながる。	・原の辻遺跡のあたり、眺めも良くて感動した。			・静かな海に光る陽光。走りやすく道もスムーズ。	・道端のおじいさんが応援してくれてうれしかった。島に自転車が認知されている感じ。 ・漁村の狭い道も自転車ならではの楽しさ。	・絶景、文句なし。道も走りやすい。通行量が少ないので、矢羽根など不要という感じ。		・東西横断：島という特性上アップダウンは仕方ないが、初心者には厳しいので、E-Bike の活用が解決するのでは。		
（一社）唐津観光協会	髙島　英治	・一般フェリーの乗船手続きも、事前のネット登録等で現場の手続きを省略できるようになると、時間も節約できていいのでは。 ・郷ノ浦のフェリー乗り場は、買い物をする店が少なく、街からも遠いので、早めに着くとヒマになる。近辺に少し店かカフェなどがあるといい（これは唐津も同じ）。		・①～⑥道路の分岐が割と多いので、下調べ要。サイクリングルートにするなら看板があるとうれしい。交通量少なく、道も開けていて走りやすい。							・猿岩周辺も Wi-Fi スポットになっている。辺鄙な場所に Wi-Fi 環境が整っているのはいい。	・郷ノ浦の街に入る手前から、交通量が多くなるとともに路肩が狭くなる。郷ノ浦市街地の坂もかなりキツイので、街中をゴールにすると最後が少々ツライ。
ゲスト	けんたさん	・サイクルツーリズムのコースとして、理想形。景観、アップダウン、観光地、トイレ休憩など、コースとして必要な要素がほとんど揃っており、ビギナーから健脚まで楽しめる。今度、サイクリングを目的として滞在したい。										
	黒枝士揮	・コースを熟知した地元チームがいるということは、それだけ地域住民がサイクリストへの理解があるということでもあり安心して走ることができた。コースのバリエーショも取れそうだったので、自転車合宿に来たい。もっと傾斜のあるコースにチャレンジしたり、ゆるやかなコースで身体を休めたりできそう。										
Bike is Life	山田大五朗	・国内では珍しく公道をつかったレースをしている壱岐ならではのサイクリストフレンドリーなコースであった。危険に思える箇所もほとんどない。あとはサイクルスタンドの設置や、荷物の移送方法などアレンジできれば、サイクリング目的の観光客を集めることもできそう。										
	無記名	・あまり危険を感じなかった。・サイクリストへの理解が深い。・休憩や観光スポットにラックがあると良い。・途中、牛の放牧をしていたところなど、観光客には写真スポットにもなる。							・⑥の先：一部舗装がガタガタしていた。			
	無記名	・道路状態が良い。 ・道案内がもう少し欲しい。										

5．本調査事業のまとめ

5-1 福岡県内におけるサイクルルートの設定

- 福岡県では、サイクルコースの検討、設定を行い「CYCLE　FUKUOKA」（https://www.crossroadfukuoka.jp/cycletrail/cyclemap.html）で既に公表されていることから、モデルルート視察ツアー対象外とした。（再掲）
- 「自転車で海を渡るサイクルツーリズム」の福岡-糸島間については、下記サイクルコースを組み込むことで、「自転車で海を渡るサイクルツーリズム」を検討する。



図：「CYCLE　FUKUOKA」で公表されている福岡-糸島のサイクルコース
（https://www.crossroadfukuoka.jp/cycletrail/cyclemap.html）

5-2 モデルルート視察ツアー結果を踏まえた設定

- 前章では、サイクリストを招聘し、協議会メンバーとともに設定したモデルルートの視察ツアーを行った。
- その結果、道路舗装、自転車通行帯の整備、サイクルルートの案内看板、誘導等の「ハード施策」に加え、地域住民や観光、宿泊業等の関係機関のサイクリストに対する理解、意識醸成、受入環境を整えていく「ソフト施策」が重要であることが分かった。
- 上記の「ハード施策」「ソフト施策」推進にあたっては、国、県、市町村及び観光関連事業者、自転車関連団体等と連携し、地域住民を巻き込んだ受け入れ環境整備を行うことが求められる。
- 本検討で設立した「サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会」は、サイクリストの受け入れ環境整備を整えていくことが期待される。調査結果の概要は以下のとおり。

表：モデルルート視察ツアー結果から見る、必要な対応事項

エリア	サイクルツーリズム、サイクルコース実現に向けて
唐津エリア	【ハード】狭幅員等の区間は、自転車通行帯の路面標示等の設置。 【ハード】自転車通行帯等、わかりやすい案内を整備。 【ハード】凸凹、くぼみの道路、舗装整備・改修。 【ソフト】休憩施設が多い。コンビニ等沿道施設との協力・連携。 【その他】サイクルルートとしての景観、楽しみ等魅力は多く、高評価。 虹の松原は特別なルートとして高評価。ポテンシャル高い。
壱岐エリア	【ハード】道路の凸凹、舗装環境を良くし、走行しやすい環境づくり。 【ハード】急勾配、カーブ区間があるため、視認性の確保が必要。 【ハード】グレーチング等の隙間、溝などの改善。 【ソフト】休憩施設、立ち寄り箇所等が少ないため、案内、情報提供が必要。 【ソフト】初心者、上級者が楽しめるサイクルコースの設定。 【ソフト】地域住民等との連携。サイクルラック、荷物サービスの設備。
航路移動 港	※船舶での移動等に対する指摘事項は見られなかった。

5-3 本調査事業をとおして実施したＰＲ事業

- モデルルート視察ツアーでは、発信力のある YouTuber を招聘し、唐津、壱岐の情報等、動画撮影を行い、YouTube での発信を行った。
- その他、国土交通省九州運輸局のプレス発表等を行い、各種メディアでの情報発信を行った。

YouTube「けんたさん」九州自転車旅 2020 年 12 月

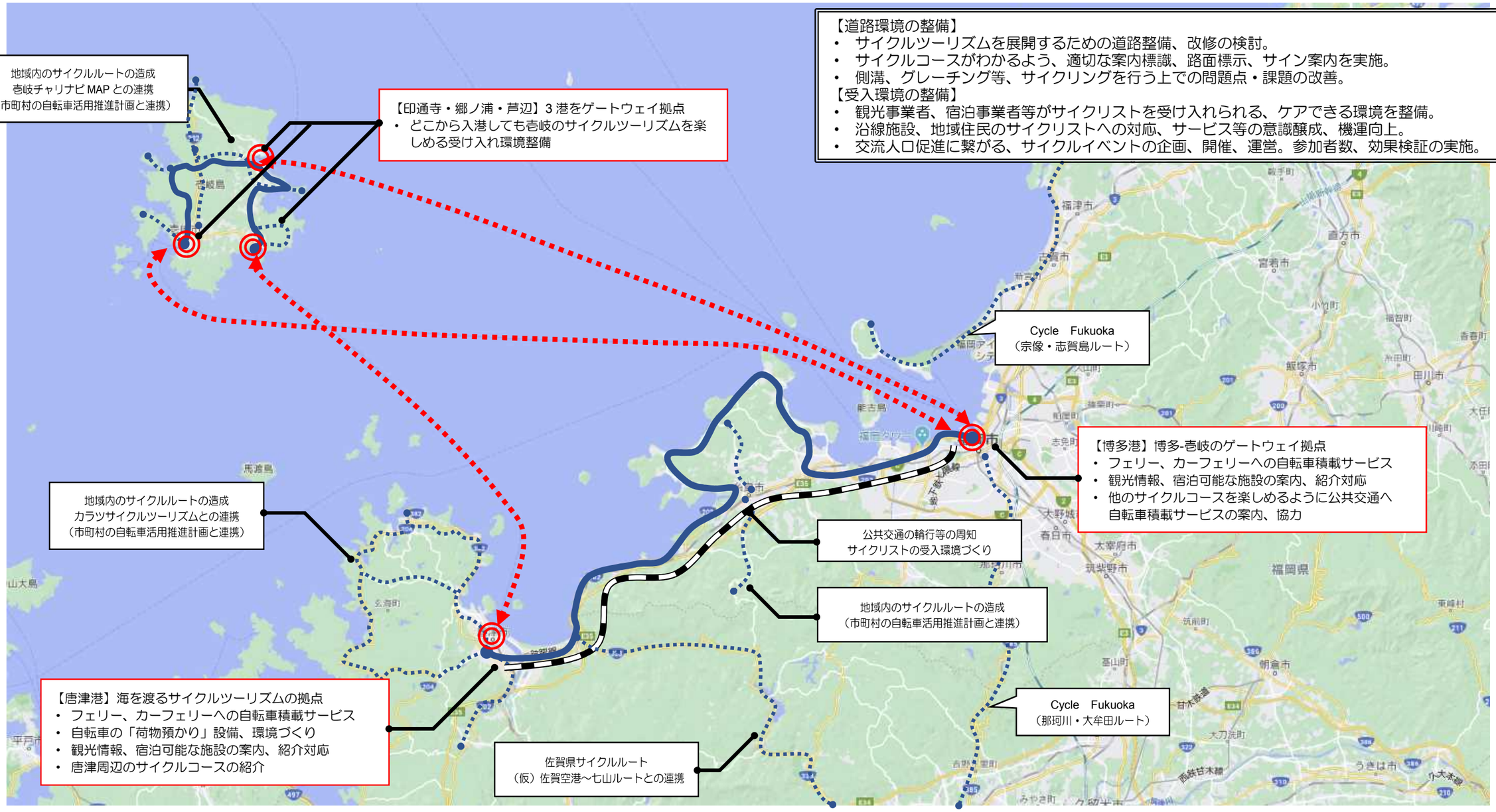
唐津編：https://www.youtube.com/watch?v=2jIGxDUlYYg&t=337s　（3.6 万回視聴）

壱岐編：https://www.youtube.com/watch?v=JYJKCk9C7D4　（1.8 万回視聴）

※3 月 11 日時点の視聴回数

5-4 自転車で海を渡るサイクルツーリズム案について

基本的な考え方	・福岡県、佐賀県、長崎県が策定し、施策事業を進めている「自転車活用推進計画」と連携し、広域的なサイクルコース、ツーリズムを形成する。 ・既存のサイクルコース、サイクルツーリズムとの連携を図り、市町村が策定、検討を進めている「自転車活用推進計画」とも連携する。 ・「九州創生アクションプラン」に記載された新ＰＴの取り組み・動向、「ツール・ド・九州・山口（仮称）」の開催を想定したサイクルルートの整備を行う。 ・各県、各市町村の自転車施策・事業と連携した自転車通行帯の整備、ルート案内、路面標示・サイン案内、サイクルラック等の「ハード整備」、地域住民、商工関係団体事業者と連携したツアー商品の造成、宿泊施設の受け入れ環境整備、イベントの開催などの「ソフト施策」を一体的に行えるよう検討する。 ・なお、検討に際しては本調査事業で設立した「サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会」を中心に、国、県、市町村及び関係機関との協議・調整を行い、施策事業を展開する。



図：自転車で海を渡るサイクルツーリズム（案）

6．成果目標と成果指標（とりまとめ）

6-1 既存資料から見る目標・指標設定

- 目標・指標の設定は、ＰＤＣＡサイクルを回すために重要なことであるが、実施内容（アクション）⇒実施結果（アウトプット指標）⇒期待される成果（アウトカム指標）というように現在のアクションと目標はわかりやすくつながっていることで関係者が課題の把握がしやすく、次に向けたアクションがしやすいものであることが望ましい。
- このため、アウトプット指標は、その年に行った取り組みが、そのまま数値として表れるものが望ましく、また、アウトプット指標とアウトカム指標は、直接的に繋がるものが望ましい。
- 以上のことから、福岡、佐賀、長崎各県、唐津市、壱岐市の上位関連計画に位置付けている指標（KPI）や、観光施策の効果検証調査と連動、通常業務で継続的に得られるデータを活用した目標及び指標を設定する。
  （ただし、目標、指標の設定は、発注者、関係機関との協議・調整の上設定する。）

図：上位関連計画に位置付けられている目標、指標設定の確認イメージ

6-2 上位関連計画における自転車活用推進に係る目標・指標設定状況

6-2-1 福岡県自転車活用推進計画

- 福岡県では、自転車通行空間の整備を促進するとともに、「福岡県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を制定し、自転車事故の防止に取り組んできた。
- 行政機関はもとより、県民や交通事業者など、あらゆる関係者が協働して、自転車に関する施策を推進するために、県の自転車を取り巻く現状や課題を踏まえ、「福岡県自転車活用推進計画」を平成 31（2019）年３月に策定した。

計画名	福岡県自転車活用推進計画（2019 年 3 月）
計画期間	2019 年度～2021 年度（3 年間）
目標・施策プロジェクト	**目標１　自転車を快適に利用できるまちづくり** 施策１　自転車通行空間の整備促進 施策２　自転車通行空間の確保と違法駐車の取締り強化 施策３　放置自転車対策の推進 施策４　シェアサイクル等の普及促進 **目標２　自転車を活用したスポーツ活動と健康づくりの推進** 施策５　サイクルスポーツの普及促進 施策６　自転車による運動機会の提供 **目標３　自転車を活用した観光振興と地域の活性化** 施策７　サイクルツーリズムの促進 ●サイクルツーリズムを普及させるため、県内の風光明媚な自転車道等を活用したモデルルートを整備します。また、道の駅、コンビニエンスストア、飲食店、自転車販売店などの協力のもと、サイクリストが気軽に休憩や自転車のメンテナンスを行うことができるサイクルステーションを県内各地に設置します。 施策８　自転車の活用による地域の魅力発信 ●サイクルツーリズムによる体験型観光を増やすため、サイクルツーリズムモデルルートやその周辺の見どころ、立ち寄りどころなどの観光スポットの掘り起こしを行い、自然景観、歴史・文化、農林水産物、特産品、食事処といった地域の魅力の発信やサイクリストと住民の交流を促進します。 図：計画内に位置付けられ、実施しているサイクルツーリズム **目標４　自転車・歩行者・自動車が安全に通行する社会づくりの推進** 施策９　安全教育と交通安全指導者の養成 施策 10　点検整備、自転車保険の加入促進など安全通行の確保 施策 11　災害時の自転車活用

指　標	現状値（2018 年度）	目標値（2021 年度）
・自転車ネットワーク計画の策定市町村数	5 市町村	15 市町村
・県や市町村等が行う自転車の魅力を体験する機会の提供回数（イベント開催数）	13 回／年度	20 回／年度
・県内のサイクルツーリズムモデルルート数	5 ルート	10 ルート
・サイクルステーションの設置数	0 箇所	200 箇所
・自転車関連事故の発生件数	4,383 件	4,000 件

6-2-2 佐賀県自転車活用推進計画

- 佐賀県では、「自転車活用推進法」第 10 条に基づき、自転車活用の有用性などを広く県民の暮らしの中で浸透させ、自転車文化が地域に根付いていくよう、自転車の活用を総合的かつ計画的に推進するための「佐賀県自転車活用推進計画」を令和２（2020）年２月に策定した。
- 当該計画は、佐賀県が推進する「歩こう。佐賀県。」のプロジェクトの一環として策定するものであり、今後、関係機関や民間事業者、県民の方々と連携しながら自転車の活用を推進する取り組みを行うものである。

計画名	佐賀県自転車活用推進計画（2020 年 2 月）
計画期間	2019 年度～2020 年度（2 年間）
目標・施策プロジェクト	**目標１　“交流”の促進を図る自転車施策** 施策１　サイクルツーリズムのモデルルート設定 ●自然、食、歴史、文化、スポーツ等の地域資源の磨き上げによる「魅力づくり」を進めるとともに、それらを自転車で有機的に結び、周遊するためのモデルルートを設定します。 施策２　サイクルスポーツの振興 施策３　WEB や雑誌による情報発信 施策４　佐賀の魅力を向上させる自転車関連施設の整備 **目標２　“暮らし”の変容を図る自転車施策** 施策５　自転車の魅力を伝えるためのイベントや仕掛けづくり 施策６　WEB や雑誌による情報発信（施策 再掲） 施策７　自転車の安全教育・マナーアップ啓発の推進 施策８　自転車保険の加入促進 PR **目標３　“インフラ”の充実を図る自転車施策** 施策９　一般県道 佐賀環状自転車道線等の整備・活用 施策 10　サイクリストの受入れ環境整備 施策 11　佐賀県内市町への自転車活用推進計画の策定支援 施策 12　自転車通行空間の整備促進を図るための法令等整備 **指　標**

	現状値（2019 年度）	目標値（2022 年度）
・モデルルートのルート数	－	5 ルート以上
・サイクルスポーツを楽しめる場の創出支援件数	－	3 件以上
・情報発信の媒体数	－	10 件以上
・自転車関連施設の新規整備件数	－	2 件以上
・実施したイベントや仕掛け	－	4 件以上
・自転車通行空間（暫定形態を含む）整備	－	整備延長 L=1.2km
・サイクルラックの新規設置数	－	150 箇所以上
・自転車活用推進計画策定自治体数	1 市町	5 市町

6-2-3 長崎県自転車活用推進計画

・ 長崎県では、自転車活用推進法（平成 28 年法律第 113 号）第 10 条に基づき、自転車の活用の推進に関する目標や施策を示す「長崎県自転車活用推進計画」を平成 31（2019）年 3 月に策定した。

計画名	長崎県自転車活用推進計画（2019 年 3 月）
計画期間	2019 年度～2020 年度（2 年間）
目標・施策プロジェクト	**目標 1　自転車を快適に利用できる良好な都市環境の形成** 施策 1　自転車通行空間の計画的な整備推進 施策 2　違法駐車取締りの推進による自転車通行空間の確保 施策 3　まちづくりと連携した総合的な取組の実施 **目標 2　サイクルツーリズムによる観光振興と地域活性化** 施策 4　サイクルイベント開催における支援 ●長崎県スポーツコミッションを活用し、市町などサイクルイベント実施主体と連携して、県内におけるサイクルイベントの開催や継続に向け、国内外で開催されている他事例紹介や助言等の支援を実施する。 施策 5　地域の魅力を活かしたサイクルツーリズムの推進 ●官民が連携した走行環境の整備の促進や、サイクリストの受入環境の整備等により、サイクルツーリズムを推進する。 図：長崎県内のサイクルイベントの開催状況 **目標 3　自転車事故のない安全で安心な社会の実現** 施策 6　自転車の安全利用の促進 施策 7　学校における交通安全教育の推進 施策 8　自転車通行空間の計画的な整備推進【施策 1 の再掲】 **指　標**

	実績値	目標値（2020 年度）
・自転車活用推進計画を策定した市町数	0 市町（2017 年度）	4 市町
・地域の協議会で設定したモデルルートに対して走行環境の整備に着手した地域の数	0 地域（2018 年度）	3 地域
・自転車乗用中の交通事故死傷者数	197 人（2015 年）	145 人以下
・交通安全について指導している学校の割合	99.8%（2015 年度）	100%

6-2-4 福岡市

・ 平成 16 年 7 月「福岡市自転車利用総合計画」策定から約 17 年が経過し、自転車の利用環境の変化（シェアサイクルの普及、観光・スポーツ分野への活用等）、平成 29 年 5 月の「自転車活用推進法」が施行されたことを受け、既計画を継承した新たな自転車計画として策定予定となっている。

計画名	福岡市自転車活用推進計画（2021 年予定）
計画期間	2021 年度～2024 年度（4 年間）
目標・施策プロジェクト	**基本方針　安全で快適な通行環境づくり** （1）安全で快適な自転車通行環境の創出 （2）安心して走行できる自転車空間ネットワークの形成 **基本方針　利用しやすい駐輪環境づくり** （1）民間等との共働による利用しやすい駐輪場の整備 （2）駐輪場の利便性向上 **基本方針　適正な自転車利用の促進しやすい** （1）適正な走行ルールの周知・徹底とマナーの向上 （2）安全・安心な自転車利用の促進 （3）放置対策の推進及び駐輪マナーの向上 **基本方針　自転車を活用したまちづくり** （1）自転車に親しむ機会の創出 ●施策 18：サイクルツーリズムの推進 ●施策 19：サイクルスポーツの普及促進 ●施策 20：自転車を活用した健康づくり 施策１８：サイクルツーリズムの推進 「宗像～志賀島～糸島」が福岡県内の広域サイクリングルートとして認定されており、このルート上のサイクリスト受入環境の整備等を優先的に進め、近隣自治体と連携して国内外からサイクリスト誘客を推進します。 サイクルスタンド 施策１９：サイクルスポーツの普及促進 市内では、「福岡トライアスロン」などの市民が参加できるサイクルスポーツの大会が開催され、自転車に親しむ機会が創出されていることから、これらの大会の継続開催などによる市民のサイクルスポーツの普及を促進していきます。 福岡トライアスロン 施策２０：自転車を活用した健康づくり 自転車をこぐなど、個人にあった身近な方法を身体活動に取り入れていくことを推進し、市民の健康寿命を延ばしていきます。 図：（仮称）福岡市自転車活用推進計画（原案）※2021.2.15 時点 （2）自転車を活用したまちづくりの推進

6-2-5 唐津市

・ 唐津市では、人口減少や地域経済の規模縮小を打開するため、観光を市の基幹産業へと発展させ、観光産業の経済的恩恵による市民の生活文化水準の維持および向上を目指し、平成 31 年 1 月 31 日に「唐津市観光地経営戦略プラン」を制定した。

計画名	唐津市観光地経営戦略プラン（2019 年 1 月）
計画期間	2019 年度～2024 年度（6 年間）
目標・施策プロジェクト	**視点１　唐津の魅力を深掘し、ぶれない価値を研磨** 施策１　観光資源の価値を深掘し、観光地としてのぶれない軸を明確化 施策２　新たな観光資源の開発や文化施設等の観光的活用を推進 施策３　民間の活力を取り込み、休眠地を含む観光施設の活用方針を見直すことで、資源価値を高める **視点２　価値を活かした市場 開拓と観光地経営を展開** 施策４　テーマとターゲット層を明確にし、国内外の市場を開拓 施策５　戦略的な官民プロモーションを強化し、旅先の動機づけを図ることで宿泊観光客を増加 施策６　「稼ぐ観光」に特化した観光地経営を実現するための各種データを継続的に収集・分析し、本市における観光のポジショニングやコンディションを把握 施策７　多様な関係者との合意形成の場を再構築し、観光地経営の目的の共有、観光関連事業と戦略の整合性に関する調整、仕組みづくりを実現 施策８　エリア集約的な需要密度を上げることで協調的行動の創出を図るとともに、観光地経営に必要な人材や観光需要を支える旅館業・飲食業・生産者などの担い手育成等を支援 **視点３　ストレスなく快適な旅ができる受入環境を実現** 施策９　ゲートウェイとなる空港や港などを活用した集客促進事業に取り組むことで、来訪者の旅のスタイルや選択肢を増やし、国内外の多様な市場ニーズへ対応 施策 10　Wi-Fi 環境整備のみならず、Wi-Fi の効果的な活用につなげるためのキャッシュレス観光や充電スポット導入の検討、トイレなどのおもてなし環境の充実、多言語対応など快適な滞在環境を実現 **達成目標**

	現状	目標値（2020 年度）
・国内旅行宿泊者数	54 万人（2017 年速報値）	50 万人以上をキープ
・訪日外国人宿泊者数	3 万 8 千人（2017 年速報値）	5 万人
・滞在時間の延長	3 時間（2015 年ＧＰＳ調査）	5 時間
・来訪者の満足度	－	100%
・来訪者のリピート意向率	－	100%

6-2-6 壱岐市

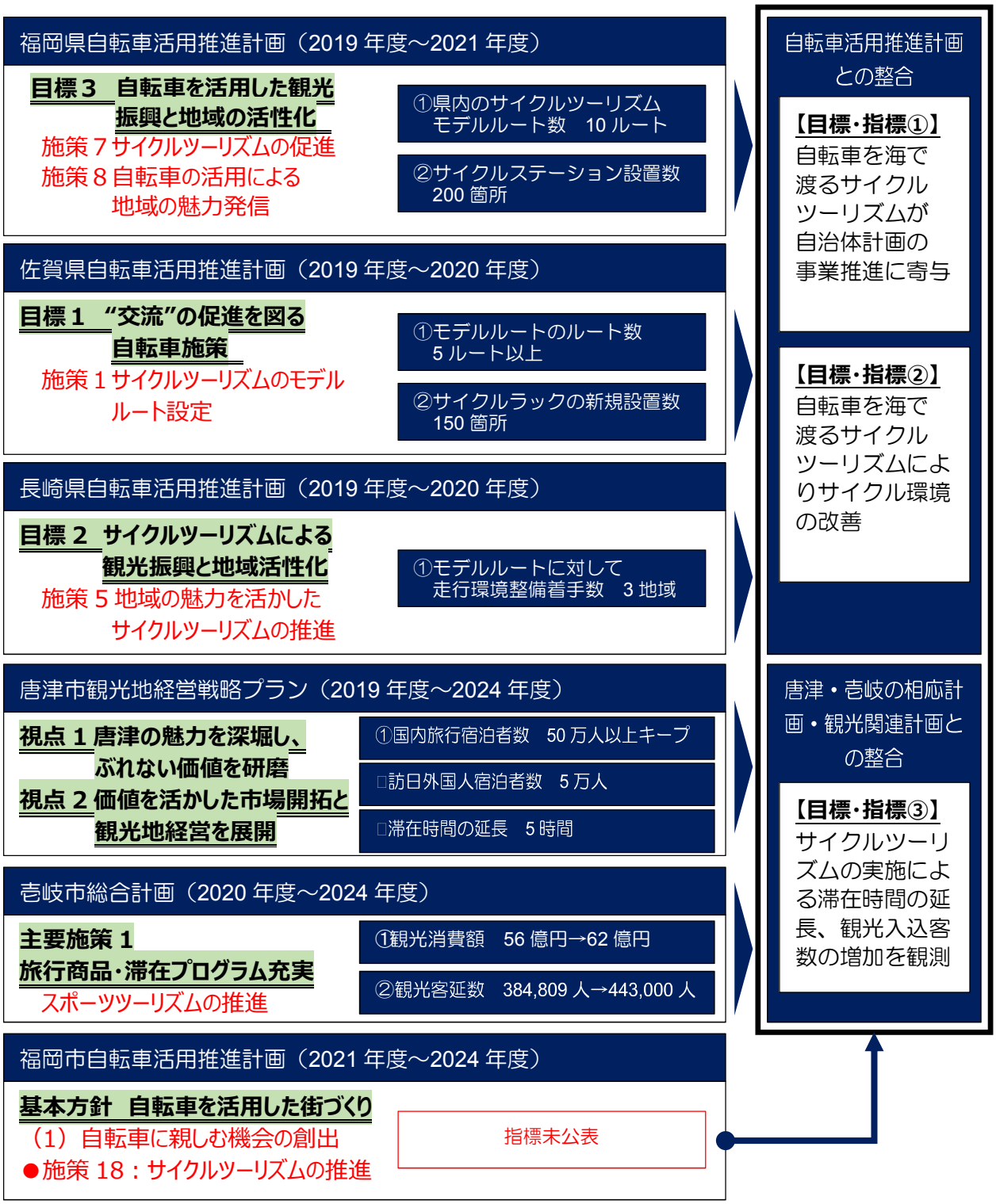
- 壱岐市では、市のこれからのまちづくりの指針となる、第３次壱岐市総合計画（2020～2024）を策定した。
- 内容を市民の皆さんと共有し、基本理念を「誰一人取り残さない。協働のまちづくり」とし、市民一人ひとりの多様性を理解しつつ、寄り添い、ともに助け合い、繋がることを通じて進化を続ける社会を目指す。

計画名	第３次壱岐市総合計画（2020～2024）（2019 年 12 月）
計画期間	2020 年度～2024 年度（5 年間）
目標・施策プロジェクト	**基本目標１　観光の推進** **主要施策１　旅行商品・滞在プログラムの充実** ❶旅行商品・滞在プログラムの充実 ❷団体旅行・クルーズ対応の強化 ❸教育旅行の推進 ❹スポーツツーリズムの推進 ・スポーツによる交流人口の拡大を目指し、壱岐サイクルフェスティバルやウルトラマラソンを継続し、少年野球大会などの各種スポーツ大会への参加を支援します。 ・サイクリングの適性が高い壱岐の地形や景観を活用したサイクリングルートを開発します。新たな観光資源の開発や文化施設等の観光的活用を推進 ❺企業連携及び各種大会誘致の推進 **主要施策２　受入環境の充実** ❶宿泊施設の魅力向上 ❷移動手段の充実 ❸観光施設の充実 ❹ICT によるスマート観光の推進 ❺観光人材の育成強化 ❻観光地域づくりプラットフォームの形成 ❼リスクマネジメントの強化 ❽6 次産業化の推進 **主要施策３　セールス・プロモーションの充実** ❶情報発信の強化 ❷旅行会社等へのセールス活動の強化 ❸観光マーケティングの推進 **達成目標** （詳細は下表）

	現状値（2018 年度）	目標値（2024 年度）
・観光消費額	56 億円	62 億円
・観光客延数	384,809 人	443,000 人

6-3 本調査事業の成果目標・指標設定（案）

- 福岡県、佐賀県、長崎県、唐津市、壱岐市の上位関連計画において、自転車関連計画、施策事業が位置づけられており、広域的なサイクルツーリズムであることから各県、各市の成果目標、指標を達成する一事業として考えられる。また、計画期間が 2020 年度、2021 年度で最終年度のものも含まれるため、更新時には本調査事業で検討結果を考慮してもらえるよう調整する。
- 本調査調査事業で検討した「サイクルツーリズム」の成果目標・指標設定は行わず、上位関連計画の成果目標・指標との整合を図る。



図：上位関連計画から見る、本調査事業実施した際の成果目標、指標設定

7．検討会等の運営支援

7-1 検討会等の設定、開催状況

7-1-1 検討会等メンバー構成

・ 佐賀県、長崎県、福岡県の行政（県・市）、観光協会、航路事業者、九州運輸局から構成される検討組織「ルート検証のための現地調査及び検討会」を設置した。

	佐賀県	長崎県	福岡県
県	✓佐賀県地域交流部観光課	✓長崎県観光振興課	✓福岡県観光政策課
市	✓唐津市経済観光部観光課	✓壱岐市企画振興部観光課	✓福岡市経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課 ✓糸島市産業振興部商工観光課
観光協会・サイクリング団体	✓佐賀県サイクリング協会 ✓唐津観光協会	✓ 壱岐市観光連盟	✓福岡観光コンベンションビューロー ✓福岡県観光連盟 ✓糸島市観光協会
航路事業者	九州郵船		
国	九州運輸局観光部観光地域振興課		

KCS
検討支援
（資料作成、現地調査準備、モデルルート検討）

→

招請サイクリスト
モデルルートチェック支援、アドバイス
（モデルルートの魅力発信、見直し・修正）

図：ルート検証のための現地調査及び検討会　検討体制

7-1-2 検討会等の協議内容・スケジュールについて

・ 検討会及びワーキンググループの開催スケジュール、協議内容は以下のとおり。

表：ルート検証のための現地調査及び検討会・ワーキンググループの議題及び検討テーマ案

	議題	検討テーマ
第０回 （書面協議他）	■キックオフ（書面協議） ・ 検討会の趣旨、スケジュール等の確認 ・ 調査、資料提供の依頼	・ 業務内容、スケジュール ・ モデルルートの意見交換
WG （10/8）	■協議会資料確認、視察ツアールート案の提示 ・ 協議会資料案の確認・調整 ・ 視察ツアールートの立ち寄り施設、参加者確認 ・ 提供資料の確認	・ 協議会資料の確認 ・ 視察ツアー（モデルルート）の修正・調整
第１回 （11/13）	■調査事業の説明、視察ツアーの承認 ・ 調査事業の説明、事業の位置づけ ・ 視察ツアー内容の説明と承認	・ 調査事業の承認 ・ 視察ツアー内容の確認
WG （11/17）	■視察ツアー実施前の最終調整 ・ 視察ツアーの役割分担 ・ 視察ツアーの各種調整事項の最終確認	・ 実施前の最終確認 ・ 役割分担調整
第２回 （3/12）	・ 視察ツアー実施報告 ・ 調査事業実施報告	・ 調査事業の結果報告

7-2 検討会の議事内容

7-2-1 第１回協議会資料（議事要旨）

第１回　サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会
議事要旨

日時：令和２年 11 月 13 日（金）13:30～
場所：唐津市民会館　第１会議室

■出席者

	協議会	所属団体・役職	代表者名	出欠	代理出席者名
1	会　長	（一社）唐津観光協会　会長	山﨑　信二	○	
2	副会長	（一社）壱岐市観光連盟　会長	長嶋　立身	代理	左野　健治
3	副会長	（公社）福岡県観光連盟　会長	竹島　和幸	代理	古賀　晴美
4	監　事	（公財）福岡観光コンベンションビューロー　会長	藤永　憲一	代理	中川　久美
5	監　事	（一社）糸島市観光協会　会長	田中　信彦	×	
6	委　員	佐賀県地域交流部文化・スポーツ交流局観光課　課長	金子　　暖	代理	大島　宏美
7	委　員	唐津市経済観光部観光課　課長	西山　将夫	○	
8	委　員	佐賀県サイクリング協会　理事長	平山　章一	代理	服部　二朗
9	委　員	長崎県文化観光国際部観光振興課　課長	佐古　竜二	×	
10	委　員	長崎県スポーツ振興課　課長	野口　純弘	×	
11	委　員	壱岐市企画振興部観光課　課長	岡部　一也	○	
12	委　員	福岡県商工部観光局観光政策課　課長	神代　眞澄	代理	長井　琢哉
13	委　員	福岡市経済観光文化局観光コンベンション部 地域観光推進課　課長	吉武　寛志	代理	馬場　英影
14	委　員	糸島市産業振興部商工観光課　課長	松本　健一郎	代理	井出　純
15	委　員	九州郵船（株）　代表取締役社長	竹永　健二郎	代理	花田　智洋

オブザーバー	九州運輸局　観光部観光地域振興課	山口　奈七
		篠田　祐記
事務局	（一社）唐津観光協会　会長	國谷　恵太
		山根　路子
		髙島　英治
調査事業受託会社	株式会社ケー・シー・エス	佐野　正
		富永　美由紀

＜配布資料＞
- 次第
- 出席者名簿
- サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会　会則
- 資料　「自転車で海を渡るサイクルツーリズム　検討の進め方について」
- 壮行会運営のしおり

１．会長挨拶

山崎会長：昨年、壱岐市と唐津市、九州運輸局と連携して、観光客が両市を周遊するような取組ができないだろうかという相談をかけられました。そこで九州運輸局の観光動向調査事業に応募し、採択され、協議会を設立することになりました。自転車で海を渡るというテーマで設定したルートの調査事業を行うにあたり、各関係自治体、観光関連団体、サイクリング協会のご協力により、この協議会を設立することができました。ありがとうございます。今後、福岡県、佐賀県、長崎県がサイクルツーリズムに関する事業に取り組む際に、この協議会がうまく機能することを期待しております。本日は事業内容の説明をお聴きいただき、活発な意見交換の場にしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

２．観光動向調査事業内容説明（質疑応答）

・資料説明（KCS）

■質疑応答

九州運輸局　：プレス発表させていただきたいのですが、よろしいでしょうか。

山崎会長　：ありがたい事なので、ぜひともお願いしたい。

佐賀県観光課　：先程の説明の中で、長崎県と福岡県については公表されている部分が多いので報告があったが、佐賀県も自転車推進計画の策定に向けて、広域の最終ルート（糸島から有田、伊万里に抜けていくルート）を設定しており、今年度中に公表する予定なので、そちらも活用していただけたらと思う。

山崎会長　：宿泊の際に自転車を部屋に持ち込みたいという要望について、唐津の旅館組合からは、視察会の時にも部屋に持ち込んで良いという了解を得ている。この点については、他のエリアまで広げた時にどう受け入れるのかを考えないといけないと思う。皆さんの認識も共有化しておいたら良いと思う。

事務局　：唐津市内にいくつかある佐賀銀行の支店長に、各支店の正面玄関近くに自転車のラックを置かせてほしいとお願いしたところ、「喜んで置きたい」とおっしゃってくださっている。まちとしてサイクリストを歓迎するという姿勢を見せていただけることは大変ありがたいことだと思っているので、ぜひ福岡、糸島、壱岐の方でも、飲食店や宿泊施設以外でも、サイクリストに対しておもてなしの姿勢を見せてくださるところがあれば、ぜひお声がけしていただくと、この事業も拡散していくと思われる。

福岡県観光政策課　：福岡県でも「サイクリストに優しい宿」という制度を作り、旅館に自転車を持ち込める設備を整えていただいたり、保管場所を整備していただいたりする事業を、補助金を出してやっているところだが、なかなかサイクリストに対する理解を得られずに数が増えていかない状況である。唐津の旅館組合の方では、全く補助もなく持ち込み可能ということか。

山崎会長　：今回、自転車１台に対していくらかもらったらいいじゃないかという説明をした。受け入れる側として、部屋が汚れるという方もいらっしゃいましたが、入口にタオルを置いておけば大丈夫だということで、それならば良いという形で唐津では理解していただいている。

福岡県観光政策課　：素晴らしいと思う。お金も落ちるので、宿泊客を呼ぶというのがいちばん大事だと思う。なかなか理解を得るのが難しいが、大変参考になった。

山崎会長　：その他に意見がなければ、これをもって第１回サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会を終了する。その他報告事項については、事務局よりお願いする。

３．報告事項

事務局　・視察ツアーの件で事前に声かけをし、宿泊される方、どちらか一方だけ参加される方、自転車を持って来られる方など、いろいろお返事を頂いている。KCS と相談しながら、ツアーの中身が詰まってきたところで、話を伺いたいのでよろしくお願いしたい。

・先日、西日本新聞に、ツール・ド・九州の国際自転車レースを開催しようという動きがあるという記事が掲載されていたので、会議資料のいちばん最後に載せている。今回の調査事業をするにあたり、九州郵船にも大変ご協力いただいており、自転車でそのままフェリーに乗って移動することについても、積極的にご協力いただけるということで話を進めている。皆さんと協議しながら、事業の内容がより濃いものになるようにしていきたいと思うので、よろしくお願いしたい。

KCS　・12 月 3 日～４日に視察ツアーをして、何が良かったか、あるいは何が課題なのか、サイクリストにもらった意見をまとめる。ツアーの結果報告に加えて、彼らがどういった情報配信をして、その後どういうふうに活動して唐津を見せてくれたのかというところも確認して、その閲覧件数や反響も含め、このサイクルルートの評判や、この事業の周知の一助になったということも確認できればと思う。

・年内に事務局と相談し、年明けに結果報告という予定にしている。その際はまたご相談させていただく。

４．その他

■意見及び質問

山崎会長　：タイヤがパンクしたりチェーンが切れたりといった、故障などのトラブルに対応する体制もあった方が良いと思う。３県をまたいで整備されたコースを持っているということを、YouTube であれば世界に発信できる。うまく作っていただきたいと思っている。

佐賀県サイクリング協会　：今後の実務のやり取りはどのようになっているのか。

KCS　：今回ルートを説明し、承認を得たということで理解させていただく。17 日に事務局内で、どういうサポート体制でやるのか、どこで休むのか、宿泊した時のミーティングをどのようにやるのかといったところを協議する。それが仕上がった段階で、メンバーの皆様にしおりを送付する形になるかと思う。

図：第１回　協議会開催状況

第２回　サイクルツーリズム西九州ルート推進協議会
議事要旨

日時：令和３年３月12日（金）15:30～
場所：MEME唐津　２階　Ｄルーム

■出席者

	協議会	所属団体・役職	代表者名	出欠	代理出席者名
1	会　長	（一社）唐津観光協会　会長	山﨑　信二	×	
2	副会長	（一社）壱岐市観光連盟　会長	長嶋　立身	×	
3	副会長	（公社）福岡県観光連盟　会長	竹島　和幸	×	古賀　晴美
4	監　事	（公財）福岡観光コンベンションビューロー　会長	藤永　憲一	○	中川　久美
5	監　事	（一社）糸島市観光協会　会長	田中　信彦	○	松田　實
6	委　員	佐賀県地域交流部文化・スポーツ交流局観光課　課長	金子　　暖	○	大島
7	委　員	唐津市経済観光部観光課　課長	西山　将夫	○	堤　さおり
8	委　員	佐賀県サイクリング協会　理事長	平山　章一	○	服部　二朗
9	委　員	長崎県文化観光国際部観光振興課　課長	佐古　竜二	○	十楽　昇侍
10	委　員	長崎県スポーツ振興課　課長	野口　純弘	○	野瀬　圭一郎
11	委　員	壱岐市企画振興部観光課　課長	岡部　一也	○	若宮　廣祐
12	委　員	福岡県商工部観光局観光政策課　課長	神代　眞澄	○	長井　琢哉
13	委　員	福岡市経済観光文化局観光コンベンション部 地域観光推進課　課長	吉武　寛志	×	馬場　英彰
14	委　員	糸島市産業振興部商工観光課　課長	松本　健一郎	×	井出　純
15	委　員	九州郵船（株）　代表取締役社長	竹永　健二郎	○	花田　智洋

オブザーバー	九州運輸局　観光部観光地域振興課	山口　奈七
		篠田　祐記
事務局	（一社）唐津観光協会　会長	國谷　恵太
		山根　路子
		髙島　英治
調査事業受託会社	株式会社ケー・シー・エス	佐野　正
		狩野　友希

＜配布資料＞
・資料　「自転車で海を渡るサイクルツーリズム　調査事業結果報告」

１．観光動向調査事業内容説明

・資料説明（KCS）

■質疑応答
なし

３．報告事項

・協議会の今後についての説明

事務局　：「サイクルツーリズム」を通じて形成された繋がりを、今後の業務に活かせていければと考えているが、それぞれで「サイクルツーリズム」の事業が行われる際に、また新しく協議会が立ち上がるということも考えられるため、今回の協議会は、この事業報告をもって解散したいと考えている。このことについて、賛成か反対かということを書面評決で表明をお願いしたいと思っている。PDF でも構わないので、事前にお送りした評決書を 3/25 までに、事務局 山根宛に送ってほしい。

４．その他

■意見及び質問

福岡県観光政策課　：今回設定したルートは、現地調査に参加された方の評判も良く、良い旅行商品になりそうだが、来年度以降この商品の磨き上げを行うということは考えていないのか。

事務局　：「サイクルツーリズム」という取り組みは今後も独自で続けていくつもり。その時に広域で連携していくということが必要になってくると思うので、連携事業として取り組めるようであれば今回の業務でご縁のあった皆様にご連絡したいと考えている。

長崎県スポーツ振興課　：書面評決書の規約第一号の下から３行目の文「今後北部九州で実施されるツーリズム事業に向けて当協議会の存続を実務担当者に諮り検討したが」とあるが、以前メールで送られてきた結果がそうだったということで良いか。

事務局　：実務担当者にメールでお尋ねしたところ、協議会を存続するための事業の目的が明確に設定されているわけではないことから解散を考えている。

長崎県スポーツ振興課　：「ツールド九州のことを考えて継続」「この事業をもって終了」「どちらともいえない」ということだったが、（書面評決書の結果の）内訳はあるか。

事務局　：数字は本日持ってきていないが、「どちらともいえない」というお答えが多く、その理由として「協議会を存続するための事業の目的が明確に設定されていない」というご意見が多かった。

佐賀県観光課　：各県でも（サイクル）ルートを作ったり、HP で公表したりしているが、今回のルートの使い道は考えていないのか。

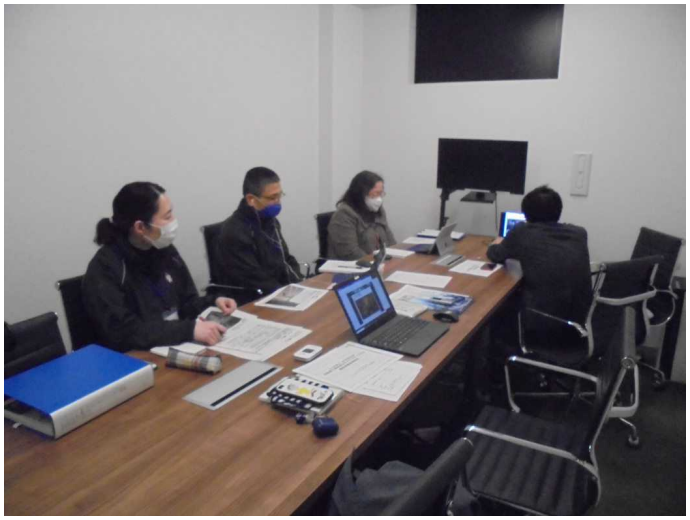
事務局　：唐津観光協会としては、壱岐市・九州郵船さんと連携した事業を進めている最中。今はコロナ禍でインバウンド向けのサービスは難しいが、これから自転車での旅行はニーズが高くなってくると思う。個人のお客様向けにこのルートを告知していくためのイベントを開催し、（サイクルツーリズムを）広めるための取組みは独自で行っていこうと考えている。

佐賀県観光課　：こちらも、連携できるところは連携しながら、情報発信を行っていければと思っている。

事務局　：首都圏・関西圏からこちらに自転車を持ってきて楽しみたいと思ったときに、輸送に使用した自転車の箱を預かってくれる窓口がないと、ツアーを計画しても実現しにくい。窓口になるであろう博多駅・福岡空港・港・佐賀空港等で箱の一時預かり等のサービスが必要。

事務局　：今後のサイクルツーリズムの環境整備は行政の皆様のお力添えが不可欠となる。今回の調査事業を糧に、今後の事業に活かしていきたい。

九州運輸局　：今年度の事業につきましてご尽力いただきましてありがとうございます。モニターツアーで参加された方のご意見をいただき、身のある検証になったかと思う。これを機に、横の繋がりができれば理想。今後も地域の活性化に向け、国の指針についても皆様に展開していくのでよろしくお願いします。



図：第２回　協議会開催状況